第４章　学校教育施設

第１節　学校教育
第２節　うるま市教育支援センター
第３節　学校給食

第１節　学校教育

１　令和６年度　うるま市のめざす学校教育

令和６年度

【学校教育の基本目標】

郷土に誇りをもち、未来を拓く人づくり

【めざす子供像】「生きる力」を身に付け　高い志をもった「うるまっ子」

確かな学力「見通す力、振り返る力」
自らの考えをもって学び合い、教え合いながら進んで学習する子を育てよう！

豊かな心「かかわる力」
いのちや人権を尊重する子、思いやりのある子を育てよう！

健やかな体「やりぬく力」
困難なことがあっても粘り強く取り組み、挑戦する子を育てよう！

学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の推進

■主体的・対話的で深い学びの実現
- ○「授業における基本事項」の徹底で授業の土台づくり
- ○ 問いをもたせる単元・授業デザインと日常的な質的改善

■道徳教育の充実
- ○ 組織的な取組・充実による年間指導計画作成と授業づくり
- ○ 豊かな体験活動と凡事徹底の推進

■健康の基盤づくり
- ○ 学校体育の充実と小中連携した一校一運動の取組
- ○ 適正な運動部活動（休日地域移行の取組）
- ○ 思春期教室・性教育の実施と健康教育の充実

■保幼こ小中連携教育の充実
- ○ 学校段階間の円滑な接続・連携した教育課程の編成
- ○ 教育活動の交流や乗り入れ授業・合同研修会の実施
- ○ 学びや生活の基本を保障する架け橋プログラムの工夫

■児童生徒理解に基づく生徒指導
- ○ 常態的・先行的生徒指導の創意工夫（未然防止の徹底）SEL や SST 等、社会性育成のためのプログラム実施
- ○ 生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援

■特別活動の充実
- ○ 学級活動での話合い活動の工夫充実
- ○ 学級活動と連動した、子供主体の児童会・生徒会活動

■特別支援教育と切れ目のない支援の充実
- ○ 巡回支援員派遣、関係機関連携(教育･福祉･家庭)
- ○ 小中をつなぐ個別の教育支援計画・指導計画の活用

■個別支援の充実と学習保障・学力保障
- ○ 通所支援と市適応指導教室等での居場所づくり
- ○ 校内自立支援教室の設置（加配教員・相談員活用）
- ○ オンラインによる学習支援

学校教育を支える

◆**「地域と共にある学校（地域学校協働活動と一体的に推進する市民協働学校）」**
～学校と家庭・地域が目標とビジョンを共有し、子供の成長を支える～
○地域を生かす、地域で学ぶ　○地域に還す、地域に貢献する　○市民協働学校推進で学校参画

◆**「GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現」**
～ICT を指導改善や学習改善に活用し、多様な子供たちを誰一人取り残さない学び続ける子供～
○個別最適な学びと協働的な学び　○テストや自学自習への活用　○距離を超えて「つながる」

◆**「教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善」**
～子供の実態を把握し課題を明確にした学校教育の推進～
○ｱｾｽﾒﾝﾄを活用した学級づくり　○全職員で取り組む授業づくり　○経験の振り返りと対話で高め合う教職員集団

重点項目

人を大切にする「聴くこと」
人間関係の構築のために互いの話を最後まで「聴く」、相手の思いを「聴く」という対話の基本を身に付ける

勇気づけのボイスシャワー
自己有用感を味わわせ、自己肯定感を高めるために子供たちの良さや頑張りを価値づける

評価の改善・充実　～自立した学習者の育成のために～
- ・目的を持った机間指導で学習状況を見取る
- ・形成的評価を実施し授業改善に生かす(ﾃｽﾄ改善)
- ・つまずきに対応するための実態に合った ICT 活用による教材提供と組織的・計画的な補習指導

共通実践項目「**あいさつ・返事・後始末**」
～幼児期から、学校・家庭・地域が一体となって取り組む～

2　令和６年度 うるま市指導行政の基本方針

学校の使命は子供一人一人の生命を守り、よさや可能性を見つけ、生かし、伸ばすとともに、確かな学力等の「生きる力」を育むことである。これまでの指導行政を踏まえ、学校課題や学習指導要領の改訂を受け、各学校が子供たちに育む「資質・能力」の育成を目指し、学校教育の目標の実現が図れるよう、国、県の動向や主要施策及び各学校の実態を踏まえ、うるま市指導行政の基本方針を以下のように作成して推進する。

児童生徒の資質・能力の育成
～子供の学ぶ力や育つ力を伸ばし高める～

めざす子供像
「生きる力」を身に付け
高い志をもった「うるまっ子」

子供の視点
子供主体の施策を発想実践
子供の変容がエビデンス

令和６年度　努力目標
○ 未来志向を持って、教育施策の推進に努める
○ 共感的理解に立って、工夫・改善・協働に努める

めざす学校像
「地域と共にある学校」
地域学校協働活動と一体的に推進する市民協働学校

総合計画【目標指標】
①全国学力・学習状況調査
②将来の夢や目標
③不登校生徒数と割合

推進体制
○ 子供の学びと育ち関係する組織の連絡・相談体制を構築する
○ 学校の組織力を発揮し、教育実践の充実及び支援体制を構築する

市重点項目(※共通実践項目)
①人を大切にする「聴くこと」
②勇気づけのボイスシャワー
③評価の改善・充実
※あいさつ・返事・後始末

課題解決指標
①全国学力学習状況調査
②生徒指導関連状況
③児童生徒活躍状況
④人間関係スキルの向上

取 組 事 項

1　子供たちの学力保障と成長保障・しっかり教える・じっくり考え、させてみる・たっぷり価値づける

実際の社会で生きて働く「知識・技能」の習得	未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成	学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

①育成すべき「資質・能力」の明確化と学校教育目標との関連　②育成すべき資質・能力を踏まえた教育課程の編成・実施・評価・改善
③主体的・対話的で深い学びの実現を図る授業改善（指導方法等の確立）④自主的、自発的な学習の促進（自立心・自律性の育成）
⑤児童生徒の発達を踏まえた支援（子供一人一人の発達の支援）　⑥豊かな心の育成　⑦健やかな体の育成

学力向上推進・児童生徒理解・GIGA スクール構想・学年経営・学級経営
①日常化する【質的授業改善】 ②そろえる【組織的共通実践】 ③支える【発達の支援】
④見通す【学校組織マネジメント】 ⑤つなぐ【学校連携・地域連携】

2 学び合う教職員の資質・能力向上	3 「チーム学校」づくりの推進
① 授業研究と日常の授業を結ぶ校内研修の充実(ICT の活用) ② 校内 OJT の充実による人材育成の推進 ③ 授業力向上に向けた公開授業の実施 ④ 教科部会や学年会の充実による授業改善の推進	① 授業力向上 （学力向上推進） ② 特別支援教育（発達支援） ③ 教育相談（不登校等） ④ 地域学校協働活動(コミュニティ・スクール) ⑤ 言語環境の充実・GIGA スクール構想の実現

4 カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進

① 教育理念の共有 ② 地域社会との連携・協働 ③「カリキュラム・マネジメント」の推進・充実 ④ 自律的学校経営の推進

指導行政推進の５つの視点

事　業	理　解	報　告	研　修	支　援
意図的・計画的に取り組むことで実践を確かなものにする	参加を通して情報の共有と共に考えることによって理解を深める	報告をまとめることで、分析・考察を通して自校の実践を振り返る	研修の機会を活かして指導技術を高め、明日の授業改善に結びつける	様々な支援策を通して一人一人の子供を大切にする
①学校支援訪問 ②学習内容の定着を図る取組 ③うるま市教育の日 ④指導主事要請訪問 ⑤中学生フォーラム ⑥児童会リーダー研修会 ⑦英語スキットコンテスト ⑧海外短期留学派遣事業 ⑨イングリッシュキャンプ ⑩研究指定校 ⑪定例校長会 ⑫定例教頭会 ⑬幼稚園教頭会 ⑭市民協働学校推進協議会 ⑮市教育支援委員会	①学力向上推進担当者会 ②生徒指導主任研修会 ③児童会・生徒会担当者研修会 ④キャリア教育担当者研修会 ⑤服務規律研修会(校内研) ⑥特別支援研修会(校内研) ⑦特別支援教育コーディネーター連絡協議会 ⑧中学校区生徒指導連絡協議会 ⑨情報教育担当者会 ⑩教育相談担当者会 ⑪保幼こ小連絡会 ⑫ALT 担当者会 ⑬特別支援教育支援員・医療的ケア看護職員研修会 ⑭教育支援担当者会	①全国学力学習状況調査 ②全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ③県到達度調査 ④県学力定着度調査 ⑤毎月の問題行動調査 ⑥毎月の児童生徒支援計画 ⑦学校評価の実施 ⑧教育支援センター成果報告会 ⑨学力向上推進の取組評価 ⑩児童生徒の活躍状況調査 ⑪教育実践グランプリ	①ブロック型研修会 ②各種研修 ・教職員研修 ・県内･県外視察研修 ③県立総合教育センター長期研修 ④教育支援センター長期研修 ⑤へき地教育研究大会 ⑥市民協働学校先進校視察 ⑦市民協働学校フォーラム ⑧国、県指定研究校 ⑨市指定研究校 ⑩統合型校務支援システム活用研修 ⑪GIGA スクール研修 ⑫特別支援学級担任等合同研修会 ⑬教科授業研修会	①ALT 配置、 ②学力向上支援員配置、 ③特別支援教育支援員配置、 ④医療的ケア看護職員配置、 ⑤ICT 支援員配置、 ⑥SSW r 配置、 ⑦スクールカウンセラー配置、 ⑧家庭支援員配置、 ⑨臨床心理士配置、 ⑩適応指導教室設置 ⑪教育相談室設置、 ⑫教育支援センター、 ⑬市教育支援委員会、 ⑭スクールバス運行 ⑮スクリレ活用、 ⑯放課後子ども教室、 ⑰地域学校協働本部、 ⑱家庭教育学級、 ⑲作業療法士による巡回相談、 ⑳自立支援員配置、 ㉑日本語教育支援員

学力向上推進構想図

＜学力向上推進協議会＞
中学校区ブロック部会（学校、家庭、地域）
共通実践項目、家庭・地域実践報告会

学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動

① 育てたい資質・能力の設定と教育目標の見直し
② 社会に開かれた教育課程の具現化
③ 横断的な指導の計画・実践・評価
④ 日常的な主体的・対話的で深い学び
⑤ カリキュラムマネジメントの実施
⑥ キャリア教育の推進

子供理解推進構想図

＜中学校区生徒指導連絡協議会＞
学校における生徒指導、教育相談、特別支援教育体制、児童会・生徒会活動の充実

教育研究へ

校内研修「何のために、どのような改善をしようとしているのか」（一人一人の実践）研究指定校「研究課題を踏まえた研究成果」の普及、個人研究等

組織マネジメントを活用した「チーム学校」の構築

○ 学校経営方針に基づく、学校経営の計画的な取組の推進
・校務組織の工夫改善　・校務改善の促進　・地域教育資源の活用
○ 中学校区ブロックの体制を生かした取組の推進
・学力向上推進三部会　・生徒指導連絡協議会　・保幼こ小中連携

教育実践へ

児童生徒への効果的な指導に役立てる。
○報告、伝達
○校内研修
○資料活用
○実践事例
○協議内容の反映

学校運営の支援

教育課程編成、各種指導計画
学年・学級経営、教科経営、特別支援学級経営、保健室経営、学校事務室経営、図書室経営、感染症対策、GIGA スクール構想の実現、SEL の実践による円滑な人間関係、学校における緊急支援

3　令和６年度 うるま市管理行政の基本方針

公教育を行うためには、全ての教職員が教育に携わる公務員として、職責の重大性を自覚し、情熱を持って教育の充実に取り組む必要がある。

あわせて、各校が校長のリーダーシップのもと、児童生徒の夢と笑顔を大切にし、組織マネジメントを生かした服務キャリア形成、研修体系を生かした研究および指導力の向上を目標に自主的・自律的に特色ある教育活動を展開していく必要がある。

めざす子供像

「生きる力」を身に付け
高い志をもった「うるまっ子」

めざす学校像

「地域と共にある学校」
地域学校協働活動と一体的に推進する市民協働学校

求める教員像

①人間性豊かで教育者としての使命感と児童生徒への教育的愛情のある教員
②幅広い教養と教育に関する専門的知識・技能を有し、常に学び続ける実践的指導力のある教員
③自然、歴史及び文化に誇りを持ち、多様性を受容し、グローバルな視点を兼ね備えた教員
④豊かなコミュニケーション能力を有し、組織力を活用できる総合的な人間力を持った教員

教職員関係法令

・学校教育法、教育公務員特例法
・公立の義務教育諸学校等の給与等に関する特別措置法
・地方教育行政の組織及び運営に関する法律
・市町村立学校職員給与負担法
・教員免許法・地方公務員法
・労働基準法
・市立学校職員服務規程

これからの時代に必要な教師力の育成

～チーム学校の中で職能成長を図る～

令和６年度　努力目標

○ 未来志向を持って、教育施策の推進に努める
○ 共感的理解に立って、工夫・改善・協働に努める

育成方針

① 学校職員として職務に専念するとともに、授業及び校務を通して職能成長を図る
② 教職員研修計画に基づく研修の充実を通して指導力向上を図る

環境整備【教育の情報化】

○情報ネットワーク
○統合型校務支援システム
○GIGA スクール構想

子供達の学力保障と成長保障
「チーム学校」づくり推進

学び合う教職員の資質・能力向上
カリキュラム・マネジメントを生かした自立的学校経営の推進

主体的な資質向上・能力開発

研修履歴の記録（必須記録研修、任命権者が必要と認める研修）

児童生徒の資質・能力の育成

～子供の学ぶ力や育つ力を伸ばし高める～

心身の健康

定期健康診断の奨励
ストレスチェックの実施

各種表彰

○市教育委員会表彰（教職員）
○市教育実践グランプリ
○文部科学省、沖縄県等の表彰

教育実践を重ねることによる指導力の向上
～教職員研修事業計画を通して～

① 初任者研修
　○ 校内における研修、校外における研修
② 教職経験２年目研修
③ 教職経験３年目研修
④ 教職経験５年目研修
⑤ 中堅教諭等資質向上研修
⑥ 市教育支援センター長期研修
⑦ 県総合教育センター長期研修・夏季研修
⑧ 校内研修
　○ 授業研究、授業リフレクション
⑨ 中央研修、研究会活動における研究等

組織の一員のとしての自覚を高める職能成長
～組織マネジメント・服務の確立をとおして～

① 教職員評価システム（年３回）
　○ 資質・能力評価
　○ 業績評価
　○ 校長との面談
② 校内服務規律研修（コンプライアンスリーダー）
③ 学年・学級、教科経営案の作成、見直し等
④ 週案を通した日々の計画・実践・記録
⑤ 校務改善の努力
　○ 諸会議、諸連絡等の工夫改善
　○ 資料整理、事務引き継ぎ等の充実
⑥ メンタルヘルス
　○ 健康管理、休暇等の取得、出退勤時刻の確認

学校訪問

○学校支援訪問
○校内における要請訪問

教職員一人一人が資質・能力を発揮させるための４つの視点

支　え	学　び	培　う	育　ち
職員間、学校間の交流に積極的に取り組み、相互支援のある同僚性を身に付けるよう努める。	学習指導要領、諸研究資料に基づいた教材研究、指導方法の工夫改善に努める。	健康増進、深い教養に関心を持ち、情操豊かな教職経験を重ねていけるよう心がける。	社会人としての経験を豊かにするとともに、子供の多様な発達段階や校務の理解を深める。

学校間交流の機会を生かす

① 校内研修の学校間交流
② 校種間（保幼こ小、小中、中高）連携による交流
③ 県外学校との交流

日常的な同僚性の発揮と管理職による支援
～日頃からの授業参観をとおして～

①学年内におけるミドルリーダーとのコミュニケーションの充実（学年会・教科会、等）
②校長、副校長、教頭、主幹教諭による日常的な参観を通した助言と子どもへの励ましの言葉
③校内における相互授業参観の奨励

校外における研修機会を生かす

①各種研修会、研究発表会への積極的な参加による交流
②主体的な研究会活動への参加による専門性の向上

管理職による支援のポイント

教職員一人一人が、身に付けた資質・能力を発揮し、めざす子供像、学校像に迫るためには、学校における同僚性を生かすとともに、自ら授業や諸教育活動に興味を持って取り組むことが大切である。
そのためには４つの視点を持ち、教職のキャリア形成を踏まえて職能成長を重ねていくことが望ましい。

4　確かな学力の向上

目指すべき方向

学習指導要領改訂の趣旨を捉え，カリキュラムマネジメント及び「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善を図り，「確かな学力」の向上に努めます。

目標

① 子供たちが夢を持ち，その実現に向けて主体的に取り組むことができるようにする。
② 学力向上推進５カ年プラン・プロジェクトⅡを推進し，授業における基本事項・うるま市重点項目「人を大切にする『聴くこと』」「勇気づけのボイスシャワー」「評価・改善」を柱とした「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に取り組む。
③ 学びの質を高める組織的な学校改善・授業改善の推進やカリキュラムマネジメントの視点に基づく学校組織体制の構築に取り組む。
④ 学校・家庭・地域の連携協力を推進し，子供たちの健やかな成長を見守っていく。

現状と課題

○ 全国学力・学習状況調査・県学力定着調査・学力到達度調査において，小学校平均正答率は，国語・算数ともに県平均に近い値となっている。中学校の平均正答率は，県平均と比べ差が縮まりつつあるが，学校間差や学年間差が課題である。
○ ICT 機器を活用した学びの質を変える授業改善
○ 自己肯定感の醸成や，自己調整力・人とかかわる力の育成が十分とは言えない。

めざす子供像，教師像

子供像	○主体的に学習に取り組むことができる児童生徒 ○他者と関わり合いを大切にし，ペアやグループで協力して学び合うことができる児童生徒
教師像	○主体的に授業改善に取り組むことができる教師 ○子供や同僚と関わり，同僚性を高めながら互いに学び合うことができる教師

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善		
	主 な 施 策	○市教委学校訪問，教職員研修，SEL 研修，教育講演会 ○教科授業研究会，校内研・市指定研究の充実，学力向上支援員の配置，単元テスト導入 ○市学力向上推進協議会・三部会の取組（うるま６か条）
	日常化する 【質的授業改善】	**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善** ○生徒指導の４つのポイント※1を生かした授業改善・学級経営の充実 ○ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進 ○授業における基本事項の改善・充実（学習過程を意識した授業展開の工夫）
	そろえる 【組織的共通実践】	**学びの質を高める心理的安全性を基盤とした学校づくり・学級づくり** ○支持的風土づくりの４つのポイント※2に基づく学校経営・学級経営 ○調査に基づく児童生徒の実態分析・共有 ○SEL の共通実践（公開授業），小中共通実践の連携・協働
	支える 【発 達 の 支 援】	**児童生徒理解に基づく学校・学級経営の充実** ○社会性と情動の学習 SEL※3，UD 及び UDL の視点に立った関係づくり※4の推進 ○道徳・特別活動の充実 ○アセスメント調査の実施と結果分析に基づく効果的な活用・支援
	見通す 【学校組織マネジメント】	**カリキュラムマネジメントの視点に基づく学校組織体制の構築** ○年間サイクル計画に基づく学力向上推進と生徒指導の一体的展開 ○授業と家庭学習を結ぶ往還的な学習サイクルの確立・学びに生かすテスト改善
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	**市学力向上推進協議会と連携した取組の充実** ○小中連携の充実　○家庭や地域と連携した基本的な生活習慣の確立 ○学力向上支援員の配置による学習支援・補習指導の体制づくり

※1：①安全・安心な風土の醸成，②自己存在感の感受，③共感的な人間関係の育成，④自己決定の場の提供
※2：「安心」「所属」「承認」「自立」を通して学校改善を図る。
※3：社会性と情動の学習 SEL（自己の捉え方と他者との関わり方を基礎とした社会性に関するスキル，態度，価値観を育む学習プログラム）を通して，学校・教師・子供の社会性や学級の人間関係形成に役立てる。
※4：UD とは，特別な支援が必要な子を含めて，通常学級におけるすべての子が楽しく学び合い『わかる・できる』ことを目指す焦点化・視覚化・共有化を意識したユニバーサル授業デザイン。UDL とは，「どう教えるかではなく，どのように学ぶか」という「学習者主体」の学びのユニバーサル化のこと。

5　道徳教育の充実

目指すべき方向

児童生徒の道徳性の育成を通して、心身の調和のとれた発達と豊かな心の育成、個性の伸長を図るため、道徳教育の充実に努めます。

目標

① 道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
② 道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
③ 各教科、外国語活動、総合的な活動の時間、特別活動等の特質に応じて、児童生徒の発達段階や特性等を考慮し，適切な指導を行う。
④ 学校・家庭・地域との共通理解を深め、相互の連携を図る。

現状と課題

○ 「主体的で対話的で深い学び」の実現に向けた道徳授業の展開と更なる授業改善
○ 教科書を活用した道徳授業の取組と指導書に頼りすぎた授業づくり
○ 支持的な風土のある学校・学級経営の取組と「人と関わろうとする力」がまだ不十分な状況
○ 生命尊重や規範的な行動を促す道徳教育の実施と取組の充実

めざす子供像

いのちや人権を尊重する思いやりのある児童生徒
○ 発達段階に応じて、答えがひとつではない道徳的な課題に向き合う児童生徒
○ 自己を振り返り、これからの課題や目標を見いだすことができる児童生徒
○ 他者と関わり合いを大切にし、ペアやグループで協力して学び合うことができる児童生徒
○ いじめに対して、その間違いに気づき、友達・教師・家族に相談しながらいじめの防止等に主体的に関わる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善		
	主 な 施 策	○社会性と情動の学習 SEL に基づく対話的な風土づくり
	日常化する 【質的授業改善】	**「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた道徳授業の改善** ○市共通実践項目・市重点項目の徹底（人を大切にする「聴くこと」，勇気づけのボイスシャワー） ○多様な指導を取り入れた道徳の授業改善（問題解決的・対話的・体験的学習等） ○道徳科を核とした組織的な授業改善「考え、議論する道徳」 ○道徳科の授業で学んだことを意識した凡事徹底の推進
	そろえる 【組織的共通実践】	**児童生徒の実態把握と共有化** ○学年会・教科会の充実と評価の視点・観点の共有化 ○豊かな体験の充実と人間関係づくり、いじめの防止を図る。
	支える 【発 達 の 支 援】	**支持的風土をつくる学校経営・学級経営の充実** ○社会性と情動の学習 SEL、ＵＤ及びＵＤＬの視点に立った授業改善 ○道徳科を中心にした学級経営の充実 ○アセスメント調査の実施と結果分析に基づく効果的な活用
	見通す 【学校組織マネジメント】	**カリキュラムマネジメントの視点に基づく学校組織体制の構築** ○各教科との関連に基づく道徳教育の指導体制の充実 ○組織的な取組・充実による道徳教育全体計画，年間指導計画（別葉）の作成と授業づくり ○各学校の実状に応じた重点目標の明確化と，発達段階に応じた指導内容の重点
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	**家庭・地域との緊密な相互連携** ○家庭・地域社会と連携した道徳教育（地域題材・地域人材の活用） ○家庭や地域と連携した道徳教育の充実とキャリア教育の視点を踏まえた校種間連携

6　健やかな心と体を育む教育の充実

目指すべき方向

健康で心豊かな人を育むため、学校体育やスポーツに親しみ、健康や体力の保持増進の基礎づくりを進めます。また、運動部活動の活性化や適正化を促進し、発達段階に応じた基礎的な体力の向上に努めます。学校給食を通して児童生徒への食に関する指導を充実するとともに、食の安全・安心・信頼性の確保に努めます。

目標

① 心と体を一体としてとらえた健康の保持増進と体力の向上を図り、保健安全及び食に関する指導を学校の教育活動全体を通して行う。
② 生涯スポーツの基礎となる体力の向上を目ざした取組を充実させる。

現状と課題

○ 各学校における健康教育に対しての創意工夫した実践
○ 新体力テスト・泳力調査結果の考察及び改善に向けた取組の実施
○ 肥満傾向、体力・運動能力の低下傾向
○ 部活動加入率（57%）＊学校運動部（45%）＊学校文化部（7%）＊学校外活動（4%）

めざす子供像

○ 心身の健康について考えて行動できる児童生徒
○ 生涯にわたって運動に慣れ親しむことのできる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○小学校体育専科教員配置の活用・推進（伊波小） ※休日部活動の段階的な地域移行に向けた取組 ○スポーツ力向上促進事業（9 学校・28 部活） ○地域部活動推進事業（2 部活・スポーツ庁委託） ○地域×スポーツクラブ産業（経済産業省委託） ○部活動指導員配置事業（4 部活 4 人）
	日常化する 【質的授業改善】	**1 体育に関する指導（体力向上）**　＊一校一運動・小中連携の取組 生涯にわたり運動やスポーツを豊かに実践し、現在及び将来の体力の向上を図る実践力の育成を目指し、自ら進んで運動に親しみ、心身を鍛える指導
	そろえる 【組織的共通実践】	**2 安全に関する指導（学校安全）** 生活安全、交通安全及び防災に関する指導や情報技術の進展に伴う事件・事故の防止 また、非常時において、児童・生徒自ら適切に判断し、行動できるよう指導
	支える 【発 達 の 支 援】	**3 食育に関する指導** 食育に関することを中心に健康についての知識を身に付け、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することができるようにする指導
	見通す 【学校組織マネジメント】	**4 心身の健康の保持増進に関する指導（健康教育）** ＊薬物乱用防止集会・思春期教室・性教育等 健康情報や性・薬物等に関する情報を正しく選択して適切に行動することができ、心身の成長発達に関して適切に理解し、行動することができるような指導
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	**5 部活動（スポーツ少年団含む）等**　＊市スポーツ力向上促進事業 ○毎年度「学校の運動部（文化部）活動に係る活動方針」を策定し、生徒が参加しやすい実施形態等を工夫するとともに、毎年度末に見直しを図る。 ○学童期における社会体育活動（スポーツ少年団）の各競技指導者との連携を密に行い、学校経営方針に沿った適切な活動の推進 ○休養日や活動時間の設定による、短時間で合理的・効率的・効果的な指導

7　生徒指導の充実

目指すべき方向

基本的な生活習慣や態度を育て、自ら主体的に判断、行動し積極的に自己を生かしていくことができる心豊かで明るく伸びやかな児童生徒の育成に努めます。

目標

① 児童生徒が主体的に判断、行動し積極的に自己を生かしていくことができるよう、自己指導能力の育成に努める。
② 児童生徒理解に基づいた生徒指導を適切な生徒指導・教育相談体制のもとで行い、教師と児童生徒の信頼関係および児童生徒相互の好ましい人間関係を育てる。
③ 生徒指導４つのポイントを生かした授業の充実、自己有用感を育てる学級経営，学年経営を充実させ「学習における居場所」「活躍の場」「絆」づくりを推進する。
④ 家庭・地域との信頼関係を築き、共通した課題意識を基盤とした指導・支援の充実に努める。
⑤ 児童生徒の実態把握に努め，いじめや不登校、その他問題行動等の未然防止を図る。

現状と課題

○ 不登校児童生徒の増加および要因の多様化
○ 児童生徒間暴力の増加
○ SNS を介した諸問題対応に苦慮している。
○ 他部署との円滑な情報連携および行動連携が図られてきている。

めざす子供像

○ 自分自身と仲間を大切にできる児童生徒
○ 自分で考え、判断、行動し、問題解決ができる児童生徒
○ 自分のよさや興味関心を生かし、自発的に学ぶことができる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○不登校・いじめ問題対策連絡協議会　○いじめ問題対策審議会 ○小中生徒指導主任研修会（警察署との連携）○児童生徒指導関連研修会 ○不登校問題対策支援訪問　○不登校問題ヒヤリング ○県/市 SSWr・家庭支援員合同研修会（ＳＶ研修会含む）
	日常化する 【質的授業改善】	○生徒指導の４つのポイントを生かした授業の充実 （「規範意識」「自己存在感」「共感的な人間関係」「自己決定の場」） ○授業における基本事項・共通実践項目の徹底 ○全ての児童生徒に活躍する場を与える取り組みの推進
	そろえる 【組織的共通実践】	○ガイダンスとカウンセリング機能の充実 ○「一人一人の居場所」「活躍の場」づくりを意識した経営の充実 ○アンケートや教育相談等での実態把握、早期発見・早期対応（いじめ防止）
	支える 【発 達 の 支 援】	○支持的風土・互いに認め合い、支え合う風土の醸成を図る学校・学級経営 ○学びに向かう集団づくり（SEL の実践） ○アセスメント調査の実施と活用
	見通す 【学校組織マネジメント】	○学校課題解決に向けた組織マネジメントを高める ○生徒指導 PDCA サイクル×３を活用した指導体制の推進
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○学校・家庭・地域の連携の充実 ○中学校区生徒指導連絡協議会の機能化（情報連携・行動連携等） ○関係機関（福祉面）とのサポートチーム体制の構築と推進

8　キャリア教育の充実

目指すべき方向

学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させるなどキャリア教育の推進に努めます。

目標

① 学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させる。
② 将来の社会的自立・職業的自立の基盤となる資質・能力・態度を育てる。
③ 望ましい勤労観・職業観を育てる。

現状と課題

○ 学校において、キャリア教育の全体計画・キャリア教育学習プログラムが作成され、推進されている。
○ うるま市キャリア教育推進事業「ミライカナイ・プログラム」によって、学校と企業・地域をつなぎ、ワーカーズトーク・拠点型職業体験・各種ワークショップ等の取組が充実している。

めざす子供像

○ 主体的に自己実現を図ろうとする児童生徒
○ 学ぶ意欲を持ち、将来社会的自立に必要な資質・能力を身に付ける児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○４つの育成能力を踏まえた年間学習計画作成の指導助言 ○商工労政課と連携し、ワーカーズトーク、社会人講話、マナー講座等のキャリア教育推進事業の展開を図る。 ○キャリア教育担当者研修会を実施し、学級活動内容（3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」等の指導の充実を図る
	日常化する 【質的授業改善】	○特別活動を要としたキャリア教育の充実 ○振り返りを意識した「キャリアパスポート」を活用し、12 年間の学びの履歴をつなぐ ○進路指導をキャリア教育の中核と捉え、主体的に進路を選択できる力の育成
	そろえる 【組織的共通実践】	○特別活動を要としたキャリア教育の充実 ○振り返りを意識した「キャリアパスポート」を活用し、12 年間の学びの履歴をつなぐ ○進路指導をキャリア教育の中核と捉え、主体的に進路を選択できる力の育成
	支える 【発 達 の 支 援】	○職場体験活動(小：ワーカーズトーク、職場見学、中：職場体験)の充実を図る。 ○相談活動･ガイダンス機能を充実させた進路指導と進路情報の家庭への積極的な情報提供
	見通す 【学校組織マネジメント】	○「基礎的・汎用的能力」４つの育成能力を踏まえた年間学習計画作成 ①人間関係形成・社会形成能力　②自己理解・自己管理能力 ③課題対応能力　④キャリアプランニング能力 ○「学ぶ意義」や「学び・育ちの実感」を積み重ねていく学校教育活動の工夫・改善 ○カリキュラム・マネジメントの視点に基づいた共通実践
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○卒業生や地域人材等を活用して、学校生活と将来の職業のつながりについての進路学習会等を実施 ○地域学校協働活動との関連

9　特別活動の充実

目指すべき方向

自ら学び考え、自らを律しつつ他者と協働できる豊かな人間性・社会性の育成を図る特別活動の充実に努めます。

目標

① 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動で必要となることを理解し、行動の仕方を身に付ける。
② 集団や自己の生活、人間関係の課題を解決するために、合意形成を図ったり、意思決定ができるようにする。
③ 身に付けたことを生かし、自己（人間として）の生き方についての考え（自覚）を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

現状と課題

○ 集団活動や学校行事の工夫、児童会・生徒会活動の活性化を図っている。
○ 小学校では、集会活動や係活動を通して友達と一緒に活動する楽しさを味わわせている。
○ 中学校では、キャリア教育と関連させながら自治的活動が行われ、生徒の社会性、自立性の向上を図っている。
○ 学級活動の学習過程を踏まえた実践

めざす子供像

○ 互いに協力し合って望ましい人間関係を築ける児童生徒
○ 自分のよさや可能性を学校生活の中で、積極的に生かすことができる児童生徒
○ 体験活動等を通して、自分の将来について考え、生かすことができる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○全体計画及び年間指導計画を基にした特別活動の充実に向けた支援 ○「うるま市小中学校フォーラム」の開催 ○児童会・生徒会担当者研修会 ○学習過程を踏まえた授業展開を図る研修会の実施
	日常化する 【質的授業改善】	○学習過程を踏まえた話合い活動の授業スタイル確立（合意形成・意思決定） ○学級活動サイクル（PDCA）に取組み、主体的な態度を育む。 ○生徒指導の４つのポイントを生かした授業改善 ○係活動や児童会・生徒会活動等を通した望ましい人間関係の構築
	そろえる 【組織的共通実践】	○特別活動の教育的意義理解と、学校全体での組織的な推進 ○育てたい資質・能力を明確にした、具体的・実践的な全体計画の作成 ○道徳教育・生徒指導の重点化などを踏まえた指導内容の重点化を図る ○学級活動と児童会・生徒会活動との連動 ○「キャリア・パスポート」の効果的な活用
	支える 【発 達 の 支 援】	○児童生徒理解（行動観察・アセス等の活用）による承認関係及び指導・支援体制の構築 ○教師の意図的、計画的な指導と子供の主体的な活動による支持的風土　をつくる学校・学級経営の充実（ガイダンスとカウンセリング） ○児童生徒と共に話し合い、決定した学級目標の設定（教室掲示用）
	見通す 【学校組織マネジメント】	○学校課題解決に向けた組織マネジメント機能の向上 ○学級・学年経営や学級活動に関する校内研修や OJT の実施 ○年間を見通した年度初めの学年・学級開きの強化
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○自然や伝統・文化とのふれあいや地域の人々との幅広い交流 ○地域人材・物的資源の効果的な活用 ○小中、小小連携した取組（学校間の交流等）

１０　特別支援教育の充実

目指すべき方向

障がいのある児童生徒が自立し、社会参加するための基盤を培う教育の充実に努めます。

目標

① 障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は、克服するための適切な指導や必要な支援を行う。
② 特別支援教育に関する校内教育支援委員会等の設置や特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の構築と、全職員が一体となった組織的な取組を推進する。

現状と課題

○ 特別支援学級 146 学級、言語通級指導教室 1 学級、発達障害通級指導教室 1 学級。
○ 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内教育支援委員会を機能的に活用し、校内体制の充実に努めている。

めざす子供像

○ 自己の自立や社会参加に向けて持てる力を発揮できる児童生徒
○ 正しい障がい理解、自己理解、他者理解を深める児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○うるま市教育支援委員会　○うるま市特別支援学級担任等合同研修会 ○教育支援担当者会　○作業療法士による巡回相談　○言語聴覚士による訓練-相談 ○特別支援教育支援員・医療的ケア看護職員の配置及び研修会の実施 ○うるま市特別支援教育研究会、中頭難聴・言語障害研究会との連携 ○関係機関との連携した取り組みの実施（うるま市教福連携プロジェクト）
	日常化する 【質的授業改善】	**個々の特性に応じた指導の充実** ○校内教育支援委員会において個の実態の把握と支援方法の検討 ○生活や学習上の困難さに関する実態把握を行い担任による継続した個別指導の実践（UD 及び UDL の視点に立った授業づくり） ○生徒指導 4 つのポイントを活かした授業の実践 ○児童生徒の障がいの特性に応じた「自立活動」の充実
	そろえる 【組織的共通実践】	**児童生徒の実態把握に基づく組織的・計画的な取組** ○個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成、活用、見直し、小中学校間の確実な引継ぎの実施 ○教育相談や生徒指導と連携したチームとしての対応の充実（共通理解・共通実践） ○校内研修や OJT を通した特別な支援を必要とする児童生徒への指導方法や指導上の留意点等についての理解深化、専門性の向上に努める。
	支える 【発 達 の 支 援】	**児童生徒理解に基づく学校・学級経営　～全ての子が過ごしやすい学校・学級～** ○特別支援学級の弾力的な運用、恒常的な体験入学等の実施 ○確かな児童生徒理解（行動観察、心理検査・アセス等の活用） ○支持的な風土をつくる学校、学級経営（SEL、特別活動の充実） ○合理的配慮（教育的ニーズに応じた指導）の適切な提供 ○特別支援教育支援員や医療的ケア看護職員の効果的な活用
	見通す 【学校組織マネジメント】	**カリキュラムマネジメントの視点に基づく校内支援体制の構築** ○校長のリーダーシップのもと、学校経営計画に基本方針を示し、全教職員が協力し、組織的、計画的な支援を推進する。（個別の指導計画の活用） ○個に応じた教育課程の編成 ○校内教育支援委員会の機能化に努め、丁寧な教育相談や就学支援を継続的に実施する。 ○特別支援教育コーディネーター → 全職員協働体制 → 校内研修
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	**切れ目のない支援の充実** ○交流及び共同学習の充実 ○保幼こ・小・中やうるま市教育支援委員会、教育相談員、臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士・うるまこどもステーション等と連携した取組の推進 ○トライアングルプロジェクト（教育・福祉・家庭の一層の連携）の推進 ○特別支援学校のセンター的役割としての活用

１１　安全教育・防災教育の充実

目指すべき方向

自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、安全な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成するとともに、児童生徒の安全確保に努めます。

目標

① 児童生徒が、安全で安心して学校生活を過ごせるような環境づくりに努める。
② 学校安全計画、危機管理マニュアル等を活用した安全指導の充実に努める。
③ 児童生徒が、登下校を含め地域で安心して生活できるように、家庭や地域社会、関係機関・団体と連携した取組を推進する。

現状と課題

○ 登下校時、道路を横断する際に起きた自動車との接触事故（6 件）
○ ふざけ合い等の中で起きたケガ（4 件）
○ 学校等からの不審者情報（7 件）
○ 通学路における必要点検箇所中学校区（40 件）＊令和 4 年度

めざす子供像

○ 決まりを守り、安全に行動できる児童生徒
○ 自分や他人の生命を尊重し、大切にできる児童生徒
○ 危険を予測して、正しい判断、行動ができる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○交通安全教室　○学校安全担当者会　○通学路安全推進会議 ○通学路合同安全点検（学校教育課/学校/市民協働課/維持管理課/警察署/中部土木事務所/各自治会）
	日常化する 【質的授業改善】	○学校安全計画の作成と活用（定期的、日常的な点検、情報の収集） ○児童生徒による地域安全マップの作成を通した危機回避能力の育成 ○児童生徒の安全に対する意識の高揚を図る取組の推進
	そろえる 【組織的共通実践】	○安全点検表等による定期的、臨時的、日常的な安全点検の徹底 ○避難訓練、校内研修、各教科における「危機管理マニュアル」の効果的活用
	支える 【発 達 の 支 援】	○防犯・防災訓練、交通安全教室による児童生徒の危機管理能力の育成 ○児童生徒が安心して学べる場となるような校舎内外の学習環境の整備・充実 ○危険箇所への早期対応と安全対策の表示等の徹底
	見通す 【学校組織マネジメント】	○各校の実情に応じた独自の「危機管理マニュアル」の作成 ○円滑な安全教育、安全管理のための学校安全体制の構築
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○保護者及び地域、関係機関等と連携した学校安全教育の充実 ○不審者情報の発信や注意喚起、地域巡回の実施 ○通学路安全点検の実施と危険箇所についての安全マップ作成 ○市教委、警察署、道路管理者と連携した危険箇所の改善 ○保護者、地域関係者を含む「危機管理マニュアル検討委員会」の設置

１２　人権教育の充実

目指すべき方向

教育活動全体を通し、人権の意義や重要性を理解させ、自他ともに大切にする心を育成するため、人権教育の充実に努めます。

目標

①児童生徒が発達段階に応じ、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重していくことができるようになり、様々な場面等で具体的な態度や行動に現れるようにする。
②日常的なかかわりの中で、教職員と児童生徒間の信頼関係づくり、児童生徒相互の人間関係づくりに努め、共生の心を育てる。

現状と課題

○各学校において「人権を考える日」を設定している。
○人権に関する授業の実践を行っている。
○社会性の未熟さから、人間関係を調整する能力に課題がある児童生徒がおり、いじめや対人トラブルが生じている。

めざす子供像

○多様な他者との「違い」を豊かにとらえることができる児童生徒。
○他の人ともよりよく生きるというノーマライゼーションの理念を理解することができる児童生徒。
○自分の人権を守り、他の人の人権を守るための実践的な行動ができる児童生徒
○「違い」への寛容な態度と「平等」の感覚を身に付けた児童生徒。

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主な施策	○児童生徒の学校生活や日常生活における様々な困難や悩みに対して、必要な支援が受けられるよう、関係機関と連絡を密にする。 ○「人権を考える日」の設定及び「生徒指導提要」、「沖縄県性の多様性尊重宣言」、「人権教育の指導方法等の在り方について」の活用等、人権感覚を身に付ける取組の充実を支援する。 ○コミュニケーションの能力の向上を図るため、SEL や特別活動の充実のための研修を実施する。 ○人権擁護委員を活用した「人権教室」の計画的な実施を支援する。
	日常化する 【質的授業改善】	○各教科等において、互いの考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、理解する活動を積極的に行い、コミュニケーション能力を育む。 ○人権感覚を身につけるため、学校生活全体で自他が認められ大切にされていることを実感できるよう教育活動の充実を図る。 ○「人権ガイドブック」等の資料を活用した人権教育に関する校内研修等を実施し、人権感覚と人権に関する理解を深め、全職員体制で組織的・計画的な指導に努める。
	そろえる 【組織的共通実践】	○児童生徒や教職員の人権意識を高めるため「人権を考える日」を位置づけ、児童生徒の実態や課題に応じた指導計画を作成するとともに、指導方法を工夫する。
	支える 【発達の支援】	○自己効力感、　自己有用感、を感じ、自尊感情の高まりが得られる学級経営を目指し、自他を大切にする心情を養う。 ○自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重していくことができるよう支持的風土の醸成に努める。
	見通す 【学校組織マネジメント】	○各学期や年度ごとに活動の点検・評価を行い、指導の改善に生かすことで、人権教育の充実を図る。
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○家庭や地域、関係機関と連携し、講話やボランティア活動、社会体験活動、高齢者や障害者等との交流など、豊かな体験の機会の充実を図り、指導の工夫・改善に努める。

１３　平和教育の充実

目指すべき方向

平和教育の充実に努め、生命の尊重や個人の尊厳を基盤に「思いやりの心」や「寛容」、「相互理解」など豊かな心や平和を希求する心を育みます。

目標

①平和で持続可能な社会の形成者となるため、生命の尊重と個人の尊厳を基盤に、思いやりの心や寛容の心を育む。
②自国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度の育成及び次世代に継承していこうとする態度を育成する。

現状と課題

○各学校教育課程において「平和教育計画」を位置付け地域人材の活用、地域素材の教材化を進めている。
○発達段階に応じた平和学習が展開されている。
○体験的な活動を実施している。
○教育活動全体で取り組む必要がある。
○戦争体験者の高齢化により、語り手が減少している。

めざす子供像

○「違い」への寛容な態度と「平等」の感覚を身に付けた児童生徒。
○「共感」「許し」等、和解に向けて、よりよい人間関係を構築できる児童生徒。

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主な施策	○沖縄県及びうるま市内の地域教材及び人材活用の充実を支援する。 （「慰霊の日」、「海から豚がやってきた」、「沖縄本土復帰」等に関連する資料の提供と活用方法等の周知）。 ○うるま市教育委員会ポータルサイトを内に平和教育に関するコンテンツを示し、平和学習の充実を支援する。 ○戦争体験者の高齢化により語り手が減少する中、教職員の初任者研修や校内研修等において平和教育を位置付け、教師の指導力の向上を図るとともに、研鑽を深める。
	日常化する 【質的授業改善】	○児童生徒が「問い」を持って平和について主体的に考えることができる平和教育を推進する ○平和学習ポータルサイトを活用し、地域の戦跡や 資料館、証言等の文献などを調べたり、実地調査を行ったりする等、体験的な学習を行う。 ○沖縄県の歴史的特性に基づき、沖縄戦の実装や教訓を継承し、平和の大切さを自ら発信し、平和を構築できる児童生徒の育成に努める。 ○学校教育全体を通じ、平和に対する多様な考え方や異なる文化を理解する態度を育成するため、指導方法の工夫・改善を図る。
	そろえる 【組織的共通実践】	○平和教育の指導の在り方について研修の機会を持ち、教職員間で共通理解を図る。 ○「慰霊の日」などに関する授業の充実を図るため、平和教育月間等を設け、平和教育を推進する。
	支える 【発達の支援】	○児童生徒の発達の段階に応じた平和教育を教育活動全体を通して推進する ○小学校では、飼育・栽培活動等の体験的学習を通して、生命を慈しみ大切にする心を育て、友達との遊びやふれあいの中から、思いやりの心、寛容の心を育成するよう努める。 ○中学校では、生命の尊重や個人の尊厳、国際社会の平和に関する具体的な認識と、紛争問題への総合的な把握力、探求能力を育てるよう努める
	見通す 【学校組織マネジメント】	○校内に推進組織を位置付けるなど全職員による指導体制の確立に努める ○各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の目標や内容との関連を明確にしながら、各教科等の年間指導計画に位置付ける ○活動の点検・評価を行い、指導の改善に生かす。
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○体験的な学習や地域人材の活用など指導方法の工夫・改善を図る。 ○郷土の歴史を教材化し、その中で平和の尊さを指導する。

１４　国際理解教育・外国語教育の充実

目指すべき方向

国際理解教育・外国語教育の充実を図るとともに、児童生徒の国際交流事業を計画・実施し、国際社会の中で活躍できる人材の育成に努めます。

目標

① 広い視野を持ち、郷土を愛し、異なる文化を持った人々と共に協調していく資質や能力をもつ人材を育成する。
② 小学校段階からの国際理解教育を図り、あわせてコミュニケーションの手段として外国語(英語)に慣れ親しませ、中学校外国語(英語)教育との円滑な接続と学びの連続性を踏まえた外国語(英語)によるコミュニケーション能力を育成する。

現状と課題

○ 小学校第３・４学年の外国語活動、第５・６学年の外国語科の授業において担任と ALT(外国語指導助手)が T・T による授業を実施
○ 各小中学校に ALT を配置予定
○ 令和５年度英語検定合格者数 985 名【合格率 50.9%（985/1934)、前年度 48.2%（1060/2200)）

めざす子供像

○ 広い視野を持ち，異なる文化を理解し、郷土を誇れる児童生徒
○ 英語でコミュニケーションを図れる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○ALT（外国語指導助手）配置 ○中学校英語スキットコンテスト ○市英語等検定料補助金交付事業(実用英語技能検定(英検)の受検費用補助) ○イングリッシュキャンプ（小学 5/6 年対象）
	日常化する 【質的授業改善】	○単元を見通した資質・能力を育む授業改善・校内研究 ○生徒指導の４つのポイントを生かした授業 ○よさや進捗状況の積極的評価 ○語彙数の増加に伴う、より多くの語に触れる機会の提供
	そろえる 【組織的共通実践】	○調査分析に基づく児童・生徒の実態認識を共有 ○「話すこと（やりとり)」領域を踏まえた言語活動の継続的指導 ○言語活動を通した、新しい文法事項の導入 ○視点・観点をそろえた評価の実施
	支える 【発 達 の 支 援】	○ALT とのチーム・ティーチングの充実によるコミュニケーション能力の育成 ○英語検定等の技能試験に向けての指導 ○世界とつなぐオンライン学習・国際交流プラットホーム「World Classroom」の試験導入
	見通す 【学校組織マネジメント】	○小学校での指導を踏まえ、中学校において５つの領域の言語活動を通した、英語によるコミュニケーション能力の育成 ○諸学力調査の結果分析に基づくカリキュラムマネジメントを意識した授業改善 ○授業と家庭学習を結ぶ往還的な学習サイクルの確立・学びを生かすテスト改善
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○小学校外国語科との連携 ○国際理解教育の充実（郷土の自然・歴史・文化や生活習慣などの紹介） ○地域人材等を活用した、異文化交流、異文化体験、英会話の体験等、学習したことのアウトプットの機会の提供

１５　情報教育の充実（情報活用能力の育成と情報モラル指導の充実）

目指すべき方向

　コンピュータやインターネットを活用し情報化社会に主体的に対応できる「情報活用能力」の育成と情報モラルに関する指導の充実に努めます。

目標

① ICT 機器を効果的に活用し、児童生徒の情報活用能力を育成する。
② 教師の ICT 活用能力の向上を図り、「わかる授業」に向けた工夫改善を図る。
③ 各教科等におけるプログラミング教育を通して、プログラミング的思考を育む。
④ 「GIGA スクール構想の実現」に向けて組織的、意図的に取り組む。
⑤ 児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育指導計画を作成し、系統的、継続的に指導する。

現状と課題

○ H27 年度に市内小中学校へ設置した電子黒板の更新が必要。
○ １人１台端末の整備が完了(R3 年 4 月)。ICT 支援員 4 名を配置し ICT 機器の活用が進むよう支援。
○ 教師の ICT 活用能力の更なる向上。
○ プログラミング教育の充実を目指した GIGA 端末 Scratch 導入と情報モラル教育の推進。

めざす子供像

○ 主体的に学び、自らの考えを伝えるとともに、他者の考えを理解する児童生徒
○ 他者と協働して、新たな価値を見出し、問題を解決しようとする児童生徒
（うるま市 GIGA スクール構想推進ビジョン）

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○計画的な情報教育担当者研修会の開催 ○各種研修会の実施 ○LINE みらい財団と連携した情報モラル教育教材の展開
	日常化する 【質的授業改善】	○GIGA スクール構想ステップ２「教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。」取組から、ステップ３「教科の学びをつなぐ。社会課題等の解決や一人一人の夢の実現に活かす。」を見据えた授業実践。
	そろえる 【組織的共通実践】	○情報活用能力の育成について体系的・継続的に取り組む。 ○児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育の実践。 ○端末を活用し、情報の収集、整理・比較、発信・伝達、保存・共有などの学習活動を行う。
	支える 【発 達 の 支 援】	○個に応じた支援ができる授業の実践。 ○教材の拡大提示による視覚的でわかりやすい授業の実践。
	見通す 【学校組織マネジメント】	○情報活用能力の体系表を作成し、体系表に基づいた評価・改善を行う。 ○ねらいを明確にし、意図的・計画的な研修を実施する。
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○情報教育に関する研修会を開催して、よい取組や実践を共有することにより、情報教育の更なる充実を図る。

１６　へき地・島しょ地域の教育の推進

目指すべき方向

へき地・島しょ地域では、小中連携を通して、地域に適した特色ある教育の推進に努めます。

目標

① へき地・島しょ地域の特性を生かした地域に根ざした教育課程の編成を行い、主体的で創造性豊かな自立心のある児童生徒の育成に努める。
② 児童生徒一人一人の特性を把握し、少人数指導や複式学級における個に応じた指導を充実すると共に、交流学習を実施し、集団活動の充実に努める。

現状と課題

○ 彩橋小中学校、津堅小中学校の２校。
○ 豊かな自然環境に恵まれ、地域の積極的な協力が得やすい。
○ 地域行事に関わる機会が多く、地域に根ざした教育が推進できる。
○ 津堅小中学校は複式学級を有し、教師の創意工夫のもとに複式授業が行われている。
○ 少人数のため人間関係の固定化が見られ、集団での活動経験や交流の機会が不足している。
○ 特別支援教育を必要とする児童生徒の割合が高い。
○ Ｎ高等学校と連携し、特色あるネット課外活動を実施している。

めざす子供像

○ 夢や希望を持ち、その実現に向けて粘り強く取り組む児童生徒
○ 地域に誇りを持ち、地域の良さを発信することができる児童生徒
○ 社会に関心を持ち、広い視野を持って学習に取り組むことができる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○へき地児童生徒援助費補助金事業 ○彩橋小中学校通学支援費補助 ○ICT を活用した特色ある学校づくり事業（N 高等学校との連携）
	日常化する 【質的授業改善】	○少人数、複式指導による個に応じた細やかな指導の充実 ○自学自習力を育成し、複式授業における間接指導の充実を図る。 ○ICT 端末の活用を促進し、情報活用能力や表現力を育成する。
	そろえる 【組織的共通実践】	○小中学部会や小中生徒指導、教育相談部会等小中連携した取組の充実 ○合同学習、集合学習、交流学習※を通し、集団での学習の充実に取り組む。 ○県や九州のへき地教育研究大会への参加を通し、へき地校の課題解決に向けた取組の充実に努め、授業力向上を図る。
	支える 【発 達 の 支 援】	○交流学習を通して多くの同年代の子供たちとの関わりを持つことで、自主性や社会性を育て、中学卒業後を見据えた指導を行う。（SEL） ○ＵＤ及び UDL の視点に立った授業づくりに取り組む。
	見通す 【学校組織マネジメント】	○９年間を見通した学校組織体制の構築 ○保幼こ・小・中学校を通して子供たちの育ちや生活指導、学習指導等、個々の情報を共有し合い、ｶﾘｷｭﾗﾑﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの視点に基づいた共通実践に取り組む。
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○地域のよさを知るとともに、誇りと愛着がもてるよう地域の文化、環境、歴史についての体験活動を取り入れた学習の工夫改善に取り組む。 ○近隣の学校と日常的に情報交換や意見交換を行うとともに、交流学習やネット授業、ブロック連携を通し、実践研究の充実に取り組む。

※合同学習・・・１つの学校で、２学級以上の児童生徒が一緒に学習し、一定の人数の集団が必要な学習や異年齢集団のよさを生かした学習を展開する教育方法
※集合学習・・・近隣の２校以上の児童生徒が一か所に集まり、各領域などの指導の計画の一部の学習活動を各学校の教師の協力的な指導により展開する教育方法
※交流学習・・・学校規模や生活環境の異なる学校間で姉妹校的な関係を結び、それぞれの学校が単独では体験できない学習や生活をさせる教育方法

１７　市民協働学校（コミュニティ・スクール）の促進

目指すべき方向

学校と保護者・地域住民が力を合わせて、学校の運営に取り組むことが可能となる仕組みづくりを促進する。

目標

①よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子供達のために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を図る。

②学校運営協議会を通して、地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを促進する。

現状と課題

○ 地域住民等の理解と協力を得て、地域教育資源を生かした授業づくりが行われている。

○ 子供たちに地域に対する誇りや地域の担い手としての自覚が高まってきている。

○ 学習支援ボランティアの人員の確保や多様な活動、継続的な活動の維持及び推進に課題。

めざす子供像

○ 生まれ育った地域のよさに気づき、「愛着心」をもつことによって、心穏やかに学校生活を送る児童生徒

○ 学校づくりに参画する大人と接することで次の地域の担い手を志す児童生徒

教育委員会の取組

○ 各学校運営協議会の推進体制の構築を図る。

○ 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)の配置。

○ （仮称）市民協働学校フォーラムにて学校運営協議会制度に係る意見交換等を行う（市内各学校取り組み事例の共有化等)。

「社会に開かれた教育課程」の実現
① 行政及び学校は市民に対し、市民協働学校（学校運営協議会制度）の目的・仕組みについて理解を図る。
② 学校は、市民協働学校において地域でどのような子供達を育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンについて、保護者、地域住民等と共有し、できることから実践する。
③ 市民協働学校において、学校課題について地域住民等と共有し、対応策について熟議する。
④ 学校は地域連携担当職員、地域学校協働活動推進員を中心に、地域との協働による授業や体験活動等の調整をし、円滑に行われるようにする。
⑤ 学校、保護者、地域がそれぞれの役割を明確にして連携し、地域人材を活用し「社会に開かれた教育課程」の実現に努める。
⑥ 学校教育情報を積極的に保護者・地域住民へ周知する。

１８　研究・研修

目指すべき方向

本市の教育の現状をふまえ、これからの時代をたくましく生きる子どもの育成を図るため、学校教育に関する研究、教育関係職員の研修を実施します。

目標

① 本市の教育の課題に即した研究を行い、その結果を教育関係者に提供する。
② 教育職員の研修を計画・実施し、教育実践上の課題を解明する。
③ 教育研究のための資料を収集して、教育関係者に供する。

現状と課題

○ 過去３年間の研究教員採用人数は、令和３年度４名、令和４年度３名、令和５年度１名。
○ 過去３年間の教育実践グランプリ応募作品数の推移は、令和３年度５作品、令和４年度 10 作品、令和５年度 13 作品。
○ 教師エージェンシーの高まりとその発揮を期待して、令和５年度より教育実践グランプリにアイデア部門を新設した。

めざす子供像

○ 主体的に学習に取り組み、自分自身の力で学びを獲得することができる児童生徒
○ 他者と関わりながら課題解決に向けて協働的に取り組むことができる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○研究教員に係る事業 ○経年研修を中心とした教員研修の実施 ○教育実践グランプリの開催
	日常化する 【質的授業改善】	○質的授業改善の土台となる学級経営の充実（支持的風土のある学級づくり） ○生徒指導の４つのポイント（安心・安全な風土、自己存在感の感受、共感的な人間関係、自己決定の場の提供）を生かした授業実践 ○日々のリフレクションとそこでの気づきを次に生かす改善サイクル
	そろえる 【組織的共通実践】	○子どもの自己肯定感を育む勇気づけのボイスシャワー ○子どもの学びの丁寧な見取りと価値づけ ○端末を活用した授業の展開
	支える 【発 達 の 支 援】	○確かな児童生徒理解とそれを土台とした支援の充実 ○児童生徒の主体的な学びを促し、それを支える教師の姿勢
	見通す 【学校組織マネジメント】	○沖縄県公立学校教員等育成指標の視点に基づく組織的教員等育成 ○教員一人一人の資質能力向上及びチーム学校の一員として連携･協働できる組織体制の構築
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○学校と家庭の互恵的な関係づくり ○児童生徒の学び・育ちを見通した中学校ブロックにおける連携した取組

19　事業計画

令和6年度 教職員研修等事業

1 市定例校長会 ： 担当 主幹

	日時	議題	場所	種別	履歴対象
①	4 月 24 日（水）	市内小中校長顔合わせ･教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室	職務	—
②	4 月 27 日（木）	教育長あいさつ･不登校･いじめ問題等対策連絡協議会	西棟3階 第一会議室		
③	5月 22 日（水）	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
④	6 月 13 日（木）	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑤	7月 11 日（木）	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑥	8月 22 日（木）	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑦	9月 12 日（木）	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑧	10 月 17 日（木）	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑨	11 月 13 日(水)	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑩	12 月 12 日(木)	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑪	1 月9日(木)	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑫	2 月5日(水)	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑬	2 月 14 日(金)	臨時校長会（定期人事異動内示）	西棟3階 第一会議室		
⑬	3 月 14 日(金)	教育長あいさつ･退職者/市外異動者あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		

2 市定例教頭会 ： 担当 仲吉

	日時	議題	場所	種別	履歴対象
①	4 月 25 日(木)	市内小中教頭顔合わせ･教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟 3 階 第一会議室	職務	—
②	7 月 12 日(金)	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟 3 階 第一会議室		
③	12 月 4 日(水)	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟 3 階 第一会議室		
④	3 月 17 日(月)	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟 3 階第一		

3 児童生徒指導関連研修会 ： 担当 仲吉

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4月 26 日（金）	市内小中生徒指導主任及び関係機関との顔合わせ	西棟3階 第一会議室	職務	○
②	2 月21日（金）	今年度の問題行動報告会			

4 市中学校生徒指導関連研修会 ： 担当 仲吉

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	7 月5日（金）	・問題行動等の状況確認・対策等 ・警察署との連携・情報交換	西棟3階 第一会議室	職務	○
②	11 月 15 日（金）		西棟3階 中会議室		

5 SSWr・教育相談担当者・自立支援員研修会 ： 担当 仲吉

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4 月2日(火)	任用説明会・各関係機関顔合わせ	西棟3階 第一会議室	職務	—
②	5 月 30 日(木)	各学校の相談活動など情報交換会（教育相談担当者参加）	西棟3階 第一会議室		
③	6 月 27 日(木)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
④	7 月 22日(月)	SV研修会（予定）	西棟3階 中会議室		
⑤	8 月 13 日(火)	各学校の相談活動など情報交換会（教育相談担当者参加）	西棟3階 中会議室		
⑥	9 月 27 日(金)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
⑦	10 月 30 日(水)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 中会議室		
⑧	11 月 26 日(火)	各学校の相談活動など情報交換会（教育相談担当者参加）	西棟3階 中会議室		
⑨	12 月 16 日(月)	SV研修会（予定）	西棟3階 第一会議室		
⑩	1 月 27日(月)	各学校の相談活動など情報交換会（教育相談担当者参加）	西棟3階 中会議室		
⑪	2 月 27 日(木)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
⑫	3 月 25日(火)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		

6 学力向上推進担当者研修会 ： 担当 儀間

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	5 月8日（水）	うるまのみらいの推進に向けて（対話型研修）	西棟3階 第一会議室	課題	○
②	10月 16日（水）	各学校の良さと課題・情報共有（対話型研修）			
③	2月5日（水）	まとめと次年度計画（対話型研修）			

7 学力向上支援員研修会 ： 担当 儀間

※午後2時間分の出勤に該当

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4 月5日(金)	服務指導、勤務形態、業務確認、心構え等	西棟3階 第一会議室	職務	―
②	7 月 16 日(火)	豊かな関わりを中心とした支援のあり方（対話型研修）			
③	12 月 18 日(水)	成果と課題・改善策、次年度に向けて（対話型研修）			

8 研究主任研修会:担当 儀間

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	5月 13 日(月)	うるまのみらいの推進に向けて（対話型研修）	西棟3階 第一会議室	課題	○
②	12 月 6 日（金）	各学校の良さと課題・情報共有（対話型研修）	西棟3階 第一会議室		
③	2月 19 日(水)	まとめと次年度計画（対話型研修）	西棟3階 第一会議室		

9 学推予算「魅力ある学校づくり活動費」申請者研修会 ： 担当 儀間

対象者：令和6年度「魅力ある学校づくり活動費」を申請した学校の担当者・申請者

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
②	4 月 16 日(火)	学推予算の申請から執行、報告までの流れ	西棟3階 第一会議室	職務	―

10 学力向上推進協議会総会・三部会 ： 担当 名嘉村・儀間

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4 月 24 日（水）	総会提案事項の確認	紙面にて	課題	―
②	5 月 23 日（木）	・事業報告／本年度事業計画（総会）	西棟3階 第一会議室		
		・R6年度の計画確認（三部会）			
③	3月下旬	事業反省・次年度計画の確認	紙面にて		

11 中学校ブロック小中連携事業 ： 担当 儀間

	日時	研修内容等（講師名）	場所	種別	研修履歴
①	6月5日（水）	（与勝第二中ブロック）公開授業及び対話	平敷屋小学校	課題	○
②	未 定	（高江洲中ブロック） 公開授業及び対話			
③	未 定	（あげな中ブロック） 公開授業及び対話			
④	未 定	（具志川中ブロック） 公開授業及び対話			
⑤	未 定	（石川中ブロック） 公開授業及び対話			
⑥	未 定	（与勝中ブロック） 公開授業及び対話			
⑦	未 定	（伊波中ブロック） 公開授業及び対話			
⑧	未 定	（具志川東中ブロック）公開授業及び対話			

12 日本語教育支援員研修会 ： 担当 名嘉村

※午後2時間分の出勤に該当

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4月8日（月）	服務規律及び職務内容等説明、令和5年度実践確認	西棟3階 中会議室	職務	―
②	7 月 12日（金）	1学期ふり返り、講話、情報交換会、好事例共有			
③	12 月 13 日（金）	2学期ふり返り、好事例共有、まとめ、次年度継続確認等			

13 英語関係事業等説明会【オンライン】

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4 月25日(木)	・ALTの日程管理、事務処理の確認（市費事務、担当教諭） ・FT・ALT の効果的な活用等、小中連携（担当教諭）	各学校 オンライン	職務	―

14 小学生イングリッシュキャンプ ： 担当 名嘉村

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	7 月 22 日(月) ～ 7 月 25 日(木) （予定）	イングリッシュキャンプ（小学 5・6 年対象）	調整中	その他	―

15 教職員研修 （1）全体研修 ： 担当 名嘉村・又吉

	日時	研修内容等（講師名）	場所	種別	研修履歴
①	4 月1日～8日	・あいさつ（教育長、学校教育部長）、行政説明 ・オンデマンド講話「子どもの心の受け止め方」（川上康則）	各学校 オンデマンド	職務	○
②	7月26日（金） 午後	・調整中	各学校 オンデマンド		

15 教職員研修（2） デジタル教材活用研修 ： 担当 儀間

	日時	研修内容等（講師名）	場所	種別	研修履歴
①	6月 18 日（火） 19 日（水）	（小学校対象）すららドリル活用研修①（基本操作等）	西棟3階 第一会議室	課題	○
②	9月 17 日（火） 18 日（水）	（小学校対象）すららドリル活用研修② （管理画面・配信）			
③	10 月9日（水） 11 日（金）	（小学校対象）すららドリル活用研修③（テスト作成）			
④	6月 10 日（月） 11 日（火）	ロイロノート活用研修①（基本操作等）	西棟3階 第一会議室	課題	○
⑤	9月 24 日（火） 25 日（水）	ロイロノート活用研修②（共有ノート、思考ツール）			
⑥	10 月 18 日（金）	ロイロノート活用研修③（応用編・授業づくり・ロイロ認定ティーチャーに向けて）			
⑦	6月4日（火） 28 日（金）	（中学校対象）スタディサプリ活用研修①（基本操作等）	オンライン 研修	課題	○
⑧	9月 12 日（木） 13 日（金）	（中学校対象）スタディサプリ活用研修②（管理画面・配信）			

※ 上記の日程については、希望者を対象に参集型にて研修を実施いたします。

※ 上記の日程以外にも、デジタル教材の各学校の活用状況をモニターし、支援が必要な学校や先生方については指導主事や ICT 支援員を派遣し、随時、伴走支援いたします。

16 教科授業研究会（国語・英語） ： 担当 名嘉村

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
②	11 月19日（火）	教科授業研究会 公開授業①	調整中	専門	○
③	11 月 28日（木）	教科授業研究会 公開授業②	調整中		

17 学校訪問 ： 担当 名嘉村

	日時	学校名	訪問種	種別	研修履歴
①	5 月 10 日（金）	与那城小学校	午前	課題	―
②	5 月 10日（金）	平敷屋小学校	午後		
③	5 月 14日（水）	川崎小学校	午前		
④	5 月 14日（水）	あげな小学校	午後		
⑤	5 月 17 日（金）	石川中学校	午前		
⑥	5 月 20日（月）	具志川東中学校	午後		
⑦	5 月24日（金）	田場小学校	午前		
⑧	5 月 28 日（火）	宮森小学校	午前		

⑨	5 月 28 日（火）	具志川小学校	午後		
⑩	5月 30 日（木）	赤道小学校	午前		
⑪	5月 30 日（木）	城前小学校	午前		
⑫	6 月3日（月）	高江洲小学校	午後		
⑬	6 月5日（水）	中原小学校	午前		
⑭	6 月11日（火）	天願小学校	午後		
⑮	6 月 12日（水）	あげな中学校	午後		
⑯	6 月14日（金）	与勝中学校	午後		
⑰	6 月17日（月）	与勝第二中学校	午後		
⑱	6 月17日（月）	南原小学校	午後		
⑲	6 月 18 日(火)	具志川中学校	午後		
⑳	6 月 20 日（木）	髙江洲中学校	午後		
㉑	6 月 24 日(月)	伊波中学校	午後		
㉒	6 月 26 日（水）	津堅小中学校	午前		
㉓	6 月 26 日（水）	彩橋小中学校	午後		
㉔	7 月 4 日（木）	伊波小学校	午後		
㉕	7 月 4 日（木）	勝連小学校	午後		

18 中頭教育事務所訪問 ： 担当 名嘉村

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4 月 15日(月)	資質･能力向上推進訪問校等打合せ会（兼原小）	中教事	課題	―
②	7 月 2日(火)	中頭教育事務所･資質･能力向上推進訪問	兼原小学校		

19 市特別支援教育支援員･医療的ケア看護職員研修会 ： 担当 喜友名 （年２回）

	日時	研修内容等	場所
①	4 月 8日（月）	第1回 服務･業務内容･障がい特性理解	西棟３階第一会議室
②	8 月 29 日（木）	第2回 学校職場における子どもたちとの関わりについて	西棟３階第一会議室

20 教育支援担当者会 ： 担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	４月17日（水）	新任教育支援担当者会 就学支援の手続き方法の周知（未就学児担当者）	西棟３階第一会議室
	４月18日（木）	新任教育支援担当者会 就学支援の手続き方法の周知（小・中担当者）	西棟３階第一会議室
②	5月 13 日（月）	（仮）「これからの特別支援教育、インクルーシブ教育」 （浦添市教育委員会 大城政之氏）	東棟大講堂
③	年2回（うるま市）	うるま市特別支援教育コーディネーター連絡協議会（年2回） 5月15日特別支援教育コーディネーター養成研修（中頭・教セ） 5月27日中・高特別支援教育コーディネーター連携協議会（教セ）	中部農林高等学校（仮） 高等特別支援学校（仮）

21 作業療法士による巡回相談 ： 担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	通年	作業療法士による巡回指導を通して、困り感のある児童生徒の支援の仕方や環境調整の仕方を理解し、指導に活かす。	全小学校及び希望する中学校訪問

22 福祉との連携（説明会・巡回訪問・施設見学等） ： 担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	４月24日（水）	教福連携プロジェクトについての説明（校長会にて）	西棟３階第一会議室
②	通 年	放課後等デイサービス施設の訪問・情報交換	事業所
③	通 年	福祉と連携した個別の教育支援計画の活用	各小学校・こども園

23 特別支援ヒヤリング ： 担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	１月～2月	「特別支援教育支援員配置児童生徒」及び「教育支援委員会にて『経過観察』が望ましいとされた児童生徒」について、学習及び支援・指導状況確認、特別支援教育に関する情報交換（必要に応じて）	各学校

24 うるま市特別支援学級担任等合同研修会 ： 担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	５月 16 日（木）	自立活動の授業について（難聴・言語、通級言語）	沖縄ろう学校
②	７月 ４日（水）	自立活動の授業について（肢体）	泡瀬特別支援学校
③	2025年 １月 17日（金）	「通常学級からはじめの一歩（国語・算数）」（仮題） 飯塚市飯塚小学校通級指導教室 杉本陽子先生	市民芸術劇場 （橙ホール）

25 うるま市教育支援委員会 ： 担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	６月 13 日（木）	第１回教育支援委員会・研修会（遠藤医師）	西棟３階第一会議室

②	6月25日(火)	第2回教育支援委員会	共用会議室
③	7月17日(水)	第3回教育支援委員会	
④	7月30日(火)	第4回教育支援委員会　※共用会議室なし	
⑤	8月15日(木)	第5回教育支援委員会	
⑥	8月28日(水)	第6回教育支援委員会	
⑦	9月　5日(木)	第7回教育支援委員会	
⑧	9月26日(木)	第8回教育支援委員会	
⑨	10月　8日(火)	第9回教育支援委員会	
⑩	10月22日(火)	第10回教育支援委員会	
⑪	11月　7日(木)	第11回教育支援委員会　※共用会議室なし	
⑫	11月19日(火)	(予備日)教育支援委員会・答申	西棟3階第一会議室
⑬	11月28日(木)	(予備日)教育支援委員会・答申 (11月22日に変更かも)	
☆	2月13日	就学相談会(4歳児対象)	東棟 3階 大講堂

26 保幼こ小連携研修 ： 担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	5月17日(金)	第1回保幼こ小連携担当者研修会(教頭)	東棟 3階 大講堂
②	8月　7日(水) 8月14日(水) 8月21日(水)	第2回保幼こ小連携担当者研修会(1年担任:教務(任意)) (公開保育・講演会「仮:幼児教育について」)	公立認定こども園予定 各小学校
③	11月28日(木)か 12月 2日(月)	第3回保幼こ小連携担当者研修会 講演会「仮・かけはしプログラム」について(校長・園長対象)	東棟 3階 大講堂

27 児童会・生徒会担当者研修会 ： 担当 辺士名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	6月4日(火)	児童会生徒会担当者研修会	じんぶん館	職務	―
②	8月2日(水)	こども議会	本会議場		
③	1月22日(水)	児童会生徒会担当者研修会	西棟3階 第一会議室		

28 情報教育担当者研修会 ： 担当 辺士名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5月7日(火)	情報教育担当者研修会(GIGA 関連、校務支援システム等)	西棟3階 第一会議室	職務	―
②	11月8日(金)	情報教育担当者研修会(GIGA 関連、校務支援システム等)	西棟3階 第一会議室		
③	2月20日(木)	情報教育担当者研修会(GIGA 関連、校務支援システム等)	西棟3階 第一会議室		

29 校務支援システム研修会 ： 担当 辺士名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4 月12日（金）	校務支援システム概要（教頭）	具志川中学校	職務	—
②	4月23日（火）	校務支援システム概要（教頭）	具志川中学校		
③	4月26日(金)	校務支援システム概要（養護教諭）	オンライン		
④	6月7日（金）	成績処理、通知表等（教頭・教務）	オンライン		
⑤	10月10日（木）	調査書作成等（中3学年主任、進路担当）	オンライン		
⑥	2月6日（木）	指導要録等（教頭・教務）	オンライン		
⑦	2月26日（水）	年度更新・新クラス設定等（教頭・教務）	オンライン		

30 キャリア教育担当者研修会 ： 担当 辺士名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5 月22日（水）	キャリア教育担当者研修会①	西棟3階 第一会議室	職務	—
②	11 月 27 日(水)	キャリア教育担当者研修会②	西棟3階 第一会議室		

31 市初任者研修 ： 担当 又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	8 月 1 日(木)	市初任者研修（終日）	西棟 3 階 第一会議室	指定	○

32 市中堅教諭等資質向上研修 ： 担当 又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	8 月 1 日(木)	社会体験研修①	各事業所	指定	○
②	8 月 2 日(金)	社会体験研修②	各事業所		

33 市教育実践グランプリ ： 担当 又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	1 月 31 日(金)	市教育実践グランプリ表彰式	東棟 3 階 大講堂	課題	—

34 研究教員入所前研修 ： 担当 又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	6 月 21 日(金)	研究テーマ検討①	3F 共用会議室	課題	○
②	8 月 21 日(水)	研究テーマ検討②	3F 共用会議室		

35 長期研修 ： 担当 又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	10月1日(火)	研究教員入所式	西棟３階 共用会議室	課題	○
②	10月31日(木)	研究教員テーマ検討会	西棟３階 中会議室		
③	12月19日(木)	研究教員中間報告会	西棟３階 中会議室		
④	2月28日(金)	研究･研修報告会	西棟３階 第一会議室		
⑤	3月21日(金)	研究教員修了式	(仮)西棟３階 共用会議室		

36 臨時的任用教員(1年目)研修会 ： 担当 又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4月5日(金)	臨時的任用教員(1年目)研修会	西棟３階 第一会議室	職務	―

37 （仮名）うるまふるさとプロジェクト ： 担当 名嘉村

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
※	調整中	地域探究（文京区中学との交流を含む）及び国際探究	調整中	その他	―

38 租税教育推進事業 ： 担当 辺士名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5月29日(水)	租税教育推進協議会	ゆらてく	その他	―
②	11月22日(金)	租税教育推進事業表彰式	じんぶん館（仮）		

39 プログラミングコンテスト ： 担当 辺士名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	7月8日(月)～ 9月30日（金）	第4回うるま市プログラミングコンテストエントリー期間	学校教育課 HP	その他	―
②	12月10日(か)	第4回うるま市プログラミングコンテスト表彰式	じんぶん館		

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【4月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	月	教職員全体研修(行政説明)【デ】	令和6年度新規採用職員辞令交付式	
2	火	学校教育課内会議(西3会9:00～) 県・市SSWr・自立支援員研修会(西3会15:00)		
3	水		教育相談員等連絡協議会①	
4	木	メクビット(L-Gate)研修①【オ】13:30～15:00	初任者研修に係る指導教員等連絡協議会① (小学校:午前、中学校:午後)	
5	金	臨時的任用(1年目)教員研修会(10:30) 第1回　学習支援員研修会(西3会15:30～)	学推企画委員会①(午前) 児童生徒支援加配連絡会(小学校)①	学校運営アドバイザー連絡協議会①(本庁)
6	土			
7	日		gatu	
8	月	学校教育課内会議(西3会9:00～) 市特別支援教育支援員・医療的ケア看護職員研修会 日本語教育支援員研修会①	小学校英語専科FT及び指導主事補連絡協議会①	県立学校始業式、入学式
9	火	一学期始業式 中学校入学式		教育事務所特別支援教育担当者会議【オ】 中堅教諭等資質向上研修担当者連絡協議会①
10	水	小学校入学式	新任教務主任研修会	第1回教育事務所長会議・総務班長会議 教育事務所等キャリア教育担当指導主事連絡協議会①
11	木	全国学調生徒質問調査(具志川中)	初任者研修①(午後) 新規採用・臨時任用事務職員等研修会①	授業改善推進教師研修会①本庁【オ】 教育事務所生徒指導担当主事会① 教育事務所等外国語教育担当指導主事連絡協議会① 学校安全担当指導主事等連絡会議①(午前)
12	金	校務支援システム研(小中教頭) 全国学調生徒質問調査(あげな中)	定例教育長会① 新任校長・教頭研修会(午前) 教職員評価システム評価者研修会Ⅱ(午前) 中頭地区授業改善リーダー研修会(午後)	第1回県立学校校長研修会 県人事担当者会①(本庁) 市町村教育委員会学校支援連絡協議会①【オ】
13	土			
14	日			
15	月	学校教育課内会議(西3会9:00～) メクビット(L-Gate)研修②【オ】15:30～ 全国学調生徒質問調査(与勝中、津堅中)	新任特別支援学級・通級担当者研修会①(～26日)【デ】 資質・能力向上推進訪問校等打合せ会 業務改善検討委員会①	
16	火	学推予算「魅力ある学校づくり活動費」 申請担当者説明会(西3会16:00～) 全国学調生徒質問調査(伊波中、彩橋中)	中堅教諭等資質向上研修①	教育事務所等国語担当指導主事連絡協議会①
17	水	教育支援担当者会(特支コ) 全国学調生徒質問調査(石川中・与勝二中・高江洲中・具志川東中)	初任者研修に係る校長等連絡協議会	教育事務所等幼児教育担当者連絡協議会①午前【オ】 令和6年度教科用図書選定審議会①
18	木	全国学力・学習状況調査(小6・中3)	全国学力・学習状況調査	教育事務所等情報教育担当指導主事連絡協議会① 教育事務所指導班長等会議①(本庁) 生涯学習・社会教育行政連絡会①
19	金	全国学調児童質問調査(伊波小、天願小、兼原小、高江洲小、中原小)	第3金曜日「少年を守る日」	沖縄県指導主事等連絡協議会①
20	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
21	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
22	月	学校教育課内会議(西3会9:00～) 全国学調児童質問調査(宮森小、城前小、与那城小、あげな小、具志川小、赤道	授業改善推進教師研修会①・指導主事補研修会 特別支援教育指導主事補連絡協議会	養護教諭　初任者研修　校長・指導者等 連絡協議会① 養護教諭　初任者研修②(教セ)
23	火	校務支援システム研(小中教頭) 全国学調児童質問調査(南原小、勝連小、平敷屋小、川崎小、田場小、彩橋小)	定例小中校長会①	養護教諭　初任者研修③(教セ)
24	水	市定例校長会①(西3会9:00～)	スクールカウンセラー連絡協議会①(午前) 特別支援教育巡回アドバイザー連絡会議(午後)	市町村教育委員会帰国・外国人児童生徒教育担当指導主事等連絡協議会【オ】 幼稚園・認定こども園法定研修等説明会【オ】本庁 栄養教諭　初任者研修② 栄養教諭初任者研修　校長等連絡協議会① 令和6年度教科用図書選定審議会調査委員会①
25	木	市定例教頭会①(西3会9:00～) 英語関係事業等説明会【オ】	教職2年目研修①	教育事務所等算数・数学担当指導主事連絡協議会 教職員評価システム評価者研修会Ⅲ(教セ) おきなわ県民カレッジ生涯学習コーディネーター研修会①
26	金	校務支援システム研(養護教諭) 市小・中生徒指導主任研(西3会15:00～)	(新)教職2年目研修②(【デ】～5/10)	教育事務所等社会科担当指導主事連絡協議会① 特別支援教育市町村連絡協議会①【オ】 市町村就学支援担当者連絡会【オ】 学校栄養職員　初任者研修② 学校栄養職員初任者研修　校長等連絡協議会① 学校栄養職員初任者研修　指導者連絡協議会①
27	土		「子ども読書の日」記念事業	
28	日			
29	月	昭和の日		
30	火	学校教育課内会議(西3会9:00～)		教育事務所等外国語教育担当指導主事連絡協議会②【オ】 特別支援教育地域支援事業説明会(予定)【オ】

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【5月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	水		特別委支援学級等担当2年目研修①	
2	木		生徒指導担当指導主事連絡協議会①(午前) 派遣指導主事研修会①(午後)	
3	金	憲法記念日		
4	土	みどりの日		
5	日	こどもの日		
6	月	振替休日		
7	火	学校教育課内会議(西3会9:00～) 情報教育担当者研①		養護教諭　中堅教諭等資質向上研修②(教セ) 栄養教諭　中堅教諭等資質向上研修②(教セ) 学校栄養職員　中堅教諭等資質向上研修②(教セ)
8	水	第1回　市学推担当者研修会(西3会　15:15～)	中堅教諭等資質向上研修②	
9	木		初任者研修②【オ】	特別支援教育新任管理職悉皆研修(【デ】～22日) 子どもの読書活動推進担当者会議①
10	金	学校訪問(平敷屋小・与那城小)	児童生徒支援加配連絡会(小学校)② 市町村教育委員会人事担当者会議①	市町村幼児教育担当者連絡協議会①本庁【オ】
11	土		運動部活動指導者及び外部指導者研修会	
12	日			
13	月	学校教育課内会議(西3会9:00～) 第1回　市研究主任研修会(西3会15:15～) 校長当初面談① 教育支援担当者会(特支コ)		沖縄県生涯学習関係者研修会① 学校環境衛生・安全管理講習会(教セ)
14	火	学校訪問(あげな小・川崎小)	教職3年目研修①	養護教諭　初任者研修④(教セ) 主幹教諭研修会(本庁) 幼児教育研究協議会における説明会【オ】本庁
15	水	校長当初面談②	新任特別支援学級・通級担当者研修会②(～26日)オンデマンド 中堅教諭等資質向上研修③(【デ】～30日)	特別支援教育コーディネーター養成研修(中頭)(教セ)
16	木	校長当初面談③ 市特別支援学級担任合同研修会(聴・言)	教職5年経験者研修 新規採用・臨時任用事務職員等研修会②	
17	金	学校訪問(石川中) 保幼こ小連絡協議会①	授業力アップ研(小・算数)①(中頭)【オ】 第2金曜日「少年を守る日」	第2回教育事務所長会議 令和6年度教科用図書選定審議会調査委員会③
18	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
19	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
20	月	学校訪問(具志川東中) 沖縄県学力定着状況調査及び教科等横断調査 ～7月12日(金)		第2回総務班長会議
21	火	校長当初面談④	教頭会①	
22	水	市定例校長会②(西3会9:00～) 校長当初面談(予備) キャリア教育担当者研①	通級指導教室担当者研修(発達・小、日本語) 共同学校事務室事務長会①	
23	木	市学力向上推進協議会総会・三部会(【オ】15:00～)	小学校体育主任研修会 授業力アップ研究会(数学)①(中頭)【オ】	養護教諭　中堅教諭等資質向上研修③
24	金	学校訪問(田場小)	中学校国語授業力アップ研究会①(中頭)【オ】 共同学校事務室事務主査会①	県人事担当者会議②【オ】 幼稚園・認定こども園法定研修等説明会【オ】本庁 栄養教諭　初任者研修③ 学校栄養職員　初任者研修③ 令和6年度教科用図書選定審議会②
25	土			
26	日			
27	月	学校教育課内会議(西3会9:00～)	定例教育長会②(学推委員会①)	中・高特別支援教育コーディネーター連携協議会(教セ)
28	火	学校訪問(宮森小・赤道小)	授業力アップ研究会(外国語)①(国頭・中頭)【オ】	県幼児教育アドバイザー・初任者研修指導員等連絡協議会①(参集型)本庁
29	水	校長当初面談(予備) 租税教育推進協議会	小中学校生徒指導教育相談担当研修会②【恩納村・うるま市・読谷村・中城村・西原町】	
30	木	学校訪問(城前小・具志川小) 県・市SSWr・自立支援員研修会(西3中15:00～)	初任者研修③	公立小中学校特別支援学級設置学校校長研修会(教セ) 就学支援スキルアップ研修【オ】
31	金		小中学校生徒指導教育相談担当研修会①【嘉手納町・沖縄市・北谷町・宜野湾市・北中城村】 通級指導教室担当者研修(言語)	教育事務所指導班長等会議②(本庁)

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

学校教育

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【6月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	土			
2	日			
3	月	学校訪問(高江洲小)		
4	火	スタディサプリ研修会①(希望者15:45～) 児童会生徒会担当者研①	中頭地区小中校長研修会	養護教諭　初任者研修④(教セ)
5	水	学校訪問(中原小) 小中連携事業(平敷屋小:与勝二中ブロック)	通級指導教室担当者研修(発達・中) おきなわ県民カレッジ美ら島沖縄学講座(ライブ配信①)	
6	木		初任者研修④	県保幼こ小架け橋期のカリキュラム検討会議①(参集型)
7	金	教育支援センター運営委員会①(17:30) 校務支援システム研(教頭・教務) 教育支援センター運営委員会①(17:30～)	9年間の学びを繋ぐ小中キャリア教育研修会① 特別支援学級等担当2年目研修②(～7/12)	沖縄県養護教諭研修会①(教セ) 初任者研修担当主事会① 第3回教育事務所長会議
8	土			
9	日			
10	月	ロイロノート研修会①(希望者15:45～)	中堅教諭等資質向上研修④【オ】	
11	火	学校訪問(天願小) ロイロノート研修会①(希望者15:45～)	資質・能力向上推進訪問①	
12	水	学校訪問(あげな中)	中学校教科研修会(音楽) 小学校英語専科教員(FT)等連絡協議会①	
13	木	市定例校長会③(西3会9:00～) 応急手当オンライン授業①(うるま市消防) 市教育支援委員会①	授業力アップ研究会(小国語)①(中頭)【オ】	学校栄養職員　初任者研修④
14	金	学校訪問(与勝中)		学校栄養職員　初任者研修⑤
15	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
16	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	教員候補者選考試験第1次試験
17	月	学校訪問(南原小・与勝第二中)	市町村教育委員会人事担当者会議② 業務改善検討委員会②	県立高等学校入学者選抜学力検査結果分析説明会
18	火	学校訪問(具志川中) すららドリル研修会①(希望者15:45～)	資質・能力向上推進訪問②	
19	水	すららドリル研修会①(希望者15:45～)	中学校英語STEP UP研修会①(中頭)	
20	木	学校訪問(高江洲中)	初任者研修⑤	
21	金	研究教員入所前研修①	地区小中教頭・教務主任研修会 第3金曜日「少年を守る日」	
22	土		gatu	
23	日	慰霊の日		
24	月	学校訪問(伊波中)		
25	火	応急手当オンライン授業②(うるま市消防) 市教育支援委員会②	定例教育長会③ 中堅教諭等資質向上研修⑤【オ】 小学校外国語ステップアップ研修3,4年① 新規採用・臨時任用事務職員等研修会③	教育支援研修会(教セ)
26	水	学校訪問(津堅小中・彩橋小中) 小中連携事業(中原小:高江洲中ブロック) 小中連携事業(赤道小:具志川中ブロック)	教育相談員等連絡協議会② 特別支援教育コーディネーター連絡会①	日本語指導教育担当者等連絡協議会①【オ】
27	木	県・市SSWr・自立支援員研修会(西3会15:00～)	小中連携合同研究会(算・数)中頭	
28	金	スタディサプリ研修会①(希望者15:45～)	小学校外国語ステップアップ研修3,4年② 地域連携担当教員等研修会【オ】	
29	土			
30	日		教員候補者選考試験第1次試験(予備日) おきなわ県民カレッジ主催講座①	

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【7月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	月	小中連携事業(石川中:石川中ブロック)		
2	火	中教事 資質・能力向上推進訪問(兼原小)	資質・能力向上推進訪問③	
3	水	応急手当オンライン授業③(うるま市消防)	中堅教諭等資質向上研修⑥(【デ】～17日) おきなわ県民カレッジ美ら島沖縄学講座(ライブ配信②)	中学校期の学力課題に関する連絡協議会①(本庁)
4	木	学校訪問(伊波小・勝連小) 市特別支援学級担任合同研修会(肢体)	初任者研修⑥	
5	金	小中連携事業(具志川小:具志川東中ブロック) 市中学校生徒指導主任研修(西3中15:00～)		第1回道徳教育推進連絡協議会 第1回研究委託市町村道徳教育推進連絡協議会 県人担当者会議③
6	土			
7	日			
8	月	第4回うるま市プログラミングコンテストエントリー開始 ～12月10日(火)		
9	火		地域特別支援教育総合推進事業運営協議会①	教育事務所等外国語教育担当指導主事連絡協議会③【オ】
10	水		中頭地区主幹教諭研修会	沖縄県保育者育成協議会①(参集型)本庁
11	木	市定例校長会④(西3会9:00～)	(新)初任者研修に係る指導教員等連絡協議会②【オ】	
12	金	市定例教頭会②(西3会9:00～) 日本語教育支援員研修会②	児童生徒支援加配連絡会(小学校)③	市町村教育委員会新任道徳教育担当主事研修(本庁) おきなわ県民カレッジ奨励賞授賞
13	土			
14	日			
15	月	海の日		
16	火	第2回　学習支援員研修会(西3会15:30～)		
17	水	市教育支援委員会③		教育事務所等社会科担当指導主事連絡協議会② 養護教諭　5年経験者研修②(教セ)
18	木		教育相談員等連絡協議会③	市町村幼児教育アドバイザー等スキルアップ研修会①本庁【オ】 特別支援教育総合推進事業運営に関する実務者会議(本庁)
19	金	一学期終業式	第3金曜日「少年を守る日」	第4回教育事務所長会議
20	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」 管理職候補者選考試験第1次試験	
21	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
22	月	県・市SSWr・自立支援員研修会(西3会15:00～)		
23	火		特別支援学級・通級指導教室担当者悉皆研修(【デ】～8/2) 教頭ヒアリング①	学校栄養職員初任者研修　指導者連絡協議会②
24	水		教頭ヒアリング② 学校安全指導者養成講習会(ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ・参集) おきなわ県民カレッジ美ら島沖縄学講座(ライブ配信③)	
25	木		初任者研修⑦(オンデマンド)～8/13 中堅教諭等資質向上研修⑦(【デ】～8/13) 教頭ヒアリング③	県栄養教諭・学校栄養職員等研修会 幼稚園・小学校運動実技指導者講習会
26	金	【仮】教育講演会(午後)	児童会・生徒会担当者研修会 教頭ヒアリング④ 事務主事研修会 新規採用・臨時任用事務職員等研修会④	小学校体育実技指導者講習会 第43回沖縄県小中学校司書研究大会(中部大会) 沖縄県栄養教諭研修会
27	土		管理職候補者選考試験第一次試験(予備日) おきなわ県民カレッジ主催講座②	
28	日			
29	月			初任者研修(教セ)(【デ】～8/15) 幼児期の学びを生かした授業改善研修会(生活科)本庁【オ】 栄養教諭　初任者研修④(教セ) 栄養教諭　5年経験者研修①(教セ) 栄養教諭　中堅教諭等資質向上研修③(教セ) 学校栄養職員　中堅教諭等資質向上研修③ 養護教諭　中堅教諭等資質向上研修⑤
30	火	市教育支援委員会④	道徳教育推進教師研修会	夏期ダンス実技研修会 養護教諭　中堅教諭等資質向上研修⑥ 栄養教諭　初任者研修⑤ 栄養教諭　5年経験者研修②(教セ) 栄養教諭　中堅教諭等資質向上研修④(教セ) 学校栄養職員　中堅教諭等資質向上研修④ 子どもの読書活動推進担当者会議②
31	水		中堅教諭等資質向上研修⑧(OIST)午前 第11回科学の甲子園ジュニア地区大会(OIST)午後	中高キャリア教育講座(中頭・宮古)【オ】 養護教諭　中堅教諭等資質向上研修⑦ 県スクールソーシャルワーカー合同研修会

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【8月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	木	市初任者研修(終日) 市中堅教諭等資質向上研修(社会体験研修)①	特別支援学級等担当2年目研修③	本庁初任者研修(【デ】～8/15) 養護教諭　5年経験者研修③(教セ) 養護教諭　中堅教諭等資質向上研修⑧⑨(教セ) 栄養教諭　中堅教諭等資質向上研修⑥⑦(教セ) 学校栄養職員　初任者研修⑥(教セ) 学校栄養職員　中堅教諭等資質向上研修⑥⑦(教セ) 県人事担当者会議④【オ】
2	金	市中堅教諭等資質向上研修(社会体験研修)② 小中学校フォーラム	初任者研修⑧(終日)	沖縄県幼児教育合同研修会(ハイブリッド型)本庁 九州地区情緒障害教育研究会【オ】 養護教諭　5年経験者研修④(教セ)
3	土			
4	日		リフレッシュ・ウィーク(～8/10)	
5	月			教育事務所等国語担当指導主事連絡協議会②【オ】
6	火			県保幼こ小架け橋期のカリキュラム検討会議②本庁 学習指導要領の着実な実施に向けた連絡協議会①【オ】
7	水	保幼こ小連絡協議会②:開催形態未定	学校閉庁日(～8/9)	第76回九州地区小学校長協議会研究大会沖縄大会(1日目)
8	木			第76回九州地区小学校長協議会研究大会沖縄大会(2日目) 第5回教育事務所長会議
9	金			全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会
10	土			全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会
11	日	山の日		
12	月	振替休日		
13	火	県・市SSWr・自立支援員研修会(西3会9:00～)	教育・医療・福祉等早期支援地方協議会(【デ】～26日) 教頭ヒアリング⑤ 県研究指定校中頭地区連絡会	
14	水	保幼こ小連絡協議会②:開催形態未定	中堅教諭等資質向上研修⑨ 教頭ヒアリング⑥	体力つくり・体育指導改善講習会
15	木	市教育支援委員会⑤	初任者研修に係る指導教員等連絡協議会③ 教頭ヒアリング⑦	
16	金		旧盆(ウンケー) 臨時教育長会 第3金曜日「少年を守る日」	
17	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
18	日		旧盆(ウークイ) 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
19	月		教頭ヒアリング(予備日)	学校運営アドバイザー連絡協議会②(本庁)
20	火		教職2年目研修③(午前・午後)	初任者研修(教セ)半日 栄養教諭　5年経験者研修③(教セ) 学校栄養職員　初任者研修⑦(教セ) 養護教諭　初任者研修⑦(教セ)
21	水	研究教員入所前研修② 保幼こ小連絡協議会②:開催形態未定	小学校・中学校生徒指導主任研修会	県幼児教育アドバイザー・初任者研修指導員等連絡協議会②(参集型)本庁 養護教諭　初任者研修⑧(教セ) 学校栄養職員　初任者研修⑧(教セ) 学校栄養職員　中堅教諭等資質向上研修⑧(教セ)
22	木	市定例校長会⑤(西3会9:00～)		中・高・特別支援諸学校キャリア教育・生徒指導・高校入試等地区講座(中頭) 教育事務所学力向上担当指導主事等連絡協議会①【オ】 養護教諭　初任者研修⑨(教セ) 学校栄養職員　初任者研修⑨(教セ) 特別支援教育地域支援事業中間報告(予定)
23	金			市町村教育委員会学校支援連絡協議会②【オ】 科学の甲子園ジュニア沖縄県大会 県人事担当者会議⑤(本庁)
24	土		教員候補者選考試験第2次試験	
25	日		教員候補者選考試験第2次試験	
26	月			
27	火		市町村教育委員会特別支援教育担当指導主事連絡協議会 教育委員会ヒアリング(予備日)	
28	水	二学期始業式 市教育支援委員会⑥	教育委員会ヒアリング①	市町村幼児教育担当者連絡協議会②【オ】
29	木	市特別支援教育支援員・医療的ケア看護職員研修会	資質・能力向上推進訪問④ 教育委員会ヒアリング②	
30	金		教育委員会ヒアリング(予備日) 小・中司書教諭・学校司書等研修会【オ】午後	
31	土		教員候補者選考試験第2次試験(予備日)	

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【9月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	日		教員候補者選考試験第2次試験（予備日）	
2	月		校長ヒアリング①（午後）	
3	火		校長ヒアリング② 特別支援学級等担当2年目研修④（～11/29）	教育事務所指導班長等会議③（本庁）
4	水		資質・能力向上推進訪問⑤ 校長ヒアリング③	県保幼こ小架け橋期のカリキュラム検討会議③本庁
5	木	市教育支援委員会⑦	中学校教科研修会（美術） 校長ヒアリング④	
6	金		地区発達障害研修（中）午後 学推企画委員会②（午前）	県人事担当者会議（予備日）【オ】
7	土		管理職候補者選考試験第2次試験 おきなわ県民カレッジ主催講座③	
8	日			
9	月	不登校ヒヤリング訪問・小学	校長ヒアリング⑤（午後）	
10	火		資質・能力向上推進訪問⑥ 校長ヒアリング⑥ 新任特別支援学級・通級担当者研修会③中頭A【オ】	
11	水		校長ヒアリング⑦ 新任特別支援学級・通級担当者研修会③中頭B【オ】	
12	木	市定例校長会⑥（西3会9:00～） スタディサプリ研修会②（希望者15:45～）	初任者研修⑨ 校長ヒアリング⑧	地区別学校保健教育研修会（教セ） 授業改善推進教師研修会②【オ】 教職員研修事業調整会議①
13	金	スタディサプリ研修会②（希望者15:45～）	校長ヒアリング⑨ 資質・能力向上推進訪問（予備日）	第2回県立学校校長研修会
14	土		管理職候補者選考試験第2次試験（予備日）	
15	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
16	月	敬老の日		
17	火	すららドリル研修会②（希望者15:45～）	校長ヒアリング⑩	
18	水	すららドリル研修会②（希望者15:45～）	定例小中校長会② 共同学校事務室事務長会②	沖縄県学力向上推進本部会議①（本庁）
19	木	不登校ヒヤリング訪問・小学	地区発達障害研修（小） 小学校英語専科教員（FT）等連絡協議会② 校長ヒアリング⑪	市町村幼児教育アドバイザー等スキルアップ研修会②本庁【オ】
20	金		教育相談員等連絡協議会④（SV研①） 第3金曜日「少年を守る日」	第6回教育事務所長会議・第3回総務班長会議
21	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
22	日	秋分の日		
23	月	振替休日		
24	火	ロイロノート研修会②（希望者15:45～）	校長ヒアリング⑫（予備日）	
25	水	ロイロノート研修会②（希望者15:45～）	小学校外国語ステップアップ研5,6年① 校長ヒアリング⑬（予備日）	
26	木	市教育支援委員会⑧	初任者研修⑩ 校長ヒアリング⑭（予備日）	
27	金	小中連携事業（伊波小：伊波中ブロック） 県・市SSWr・自立支援員研修会（西3会15:00-	園長等運営管理協議会【オ】	教育事務所等外国語教育担当指導主事連絡協議会④【オ】
28	土			
29	日			
30	月			

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

学校教育

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【10月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	火	研究教員入所式	小学校外国語ステップアップ研5,6年② 教育委員会計画訪問①(北谷町、北中城村)	
2	水	教育委員会訪問(中頭教育事務所)13:00	おきなわ県民カレッジ美ら島沖縄学講座(ライブ配信④) 教育委員会計画訪問②(恩納村、うるま市)	
3	木	校長中間面談①	教育委員会計画訪問③(嘉手納町、読谷村)	
4	金	校長中間面談②	生徒指導担当指導主事連絡協議会②	第7回教育事務所長会議 県人事担当者会議⑥(那覇)
5	土			
6	日			
7	月	校長中間面談③		
8	火	市教育支援委員会⑨	教育委員会計画訪問④(沖縄市、宜野湾市)	
9	水	すららドリル研修会③(希望者15:45～)	定例教育長会④(学推委員会②) 市町村教育委員会人事担当者会議③	
10	木	校長中間面談④ 校務支援システム研(中3学年主任、進路担当)	教育委員会計画訪問⑤(中城村、西原町) 新規採用・臨時任用事務職員等研修会⑤	初任者研修担当主事会②
11	金	すららドリル研修会③(希望者15:45～) 小中連携事業(南原小:与勝中ブロック)	定例小中校長会③(定期人事異動) 事務主任研修会	
12	土			
13	日			
14	月	スポーツの日		
15	火		学推企画委員会③(午後)	
16	水	第2回　市学推担当者研修会(西3会15:15～) 校長中間面談(予備)	授業力アップ研究会(外国語)②(中頭) 特別支援教育コーディネーター連絡会②	
17	木	市定例校長会⑦(西3会9:00～)	中学校国語授業力アップ研究会②(中頭)	
18	金	ロイロノート研修会③(希望者15:45～) 校長中間面談(予備)	事務主査研修会 第3金曜日「少年を守る日」	
19	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
20	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
21	月		業務改善検討委員会③	
22	火	市教育支援委員会⑩	中学校教科研修会(技術) 特別支援教育管理職(校長)悉皆研修(【デ】～11/6)	教育事務所等キャリア教育担当指導主事連絡協議会②
23	水		防犯教室講習会(国頭・中頭)	
24	木		初任者研修⑪	九州地区へき地・小規模校研究大会(沖縄大会)1日目 第2回県立中高一貫校連絡協議会 教職員研修事業調整会議②
25	金		おきなわ県民カレッジ美ら島沖縄学講座(ライブ配信⑤)	九州地区へき地・小規模校研究大会(沖縄大会)2日目 日本語指導教育担当者等連絡協議会②ｵﾝﾗｲﾝ 学校栄養職員　中堅教諭等資質向上研修⑨ 県人事担当者会議(予備)オンライン
26	土			
27	日			
28	月		県立中学校入学者選抜出願期間(～11/1)	
29	火		教育相談員等連絡協議会⑤(SV研②)	
30	水	県・市SSWr・自立支援員研修会(西3会15:00～)	教頭会②	
31	木	研究教員テーマ検討会	授業力アップ研究会(小国語)②(中頭)	令和6年度第65回九州音楽教育研究大会・沖縄大会①(～11/1)

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和６年度　　教職員研修事業年間計画　　【１１月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	金		授業力アップ研（小・算数）②（中頭）	県立中学校入学者選抜出願締切 第8回教育事務所長会議 学校栄養職員　初任者研修⑩（教セ） 県学力向上推進フォーラム（【デ】～２２） 令和６年度第65回九州音楽教育研究大会・沖縄大会②
2	土			
3	日	文化の日		
4	月	振替休日		
5	火		学推大会打ち合わせ会①	子どもの読書活動推進担当者会議③
6	水		授業力アップ研究会（数学）②（中頭） 合理的配慮に基づくICT教育推進研修【デ】	沖縄県教育関係職員表彰式 道徳教育推進研修（～11月8日）
7	木	市教育支援委員会⑪		第65回沖縄県中学校長研究大会中頭大会（1日目）
8	金	情報教育担当者研②	中学校教科研修会（家庭）	第65回沖縄県中学校長研究大会中頭大会（2日目） 教職員研修事業調整会議③
9	土			
10	日			
11	月	校長ヒアリング（予備）	定例教育長会⑤	
12	火		中学校教科研修会（理科） 市町村教育委員会人事担当者会議④	養護教諭　初任者研修⑩（教セ） 特別支援教育研修会（教セ）
13	水	市定例校長会⑧（西３会9:00～）	中学校英語STEP UP研修会②（中頭）	
14	木	校長ヒアリング（予備）		第５８回沖縄県公立小中学校教頭会研究大会(国頭) 市町村幼児教育アドバイザー等スキルアップ研修会③本庁【オ】
15	金	校長ヒアリング（予備） 市中学校生徒指導主任研（西３会１５：００～）	第３金曜日「少年を守る日」	第５８回沖縄県公立小中学校教頭会研究大会(国頭) 特別支援教育市町村連絡協議会②（本庁） 沖縄県養護教諭研修会② 県人事担当者会議⑦（本庁） 第54回沖縄県公民館研究大会南部大会
16	土		第３土曜日「おきなわ地域教育の日」	
17	日		第３日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
18	月	校長ヒアリング①		
19	火	市中学校教科授業研究会（仮：国語） 市教育支援委員会⑫（予備）	中頭地区幼児教育研究協議会（恩納村）	
20	水	校長ヒアリング②	教育相談員等連絡協議会⑥（SV研③）	
21	木	校長ヒアリング③	中学校教科研修会（保健体育科）	
22	金	租税教育推進事業表彰式		沖縄県学力向上推進本部会議②（本庁） 第9回教育事務所長会議 沖縄県情緒障害教育研究大会 特別支援教育管理職（校長）悉皆研修（～１１/6）【オ】 九州学校体育研究発表大会（沖縄大会：国頭開催） 栄養教諭　初任者研修⑥（教セ） 栄養教諭　5年経験者研修④（教セ） 栄養教諭　中堅教諭等資質向上研修⑧（教セ） 教育事務所指導班長等会議④（本庁）
23	土	勤労感謝の日		
24	日			
25	月		教育長ヒアリング（予備日　午後）	
26	火	県・市SSWｒ・自立支援員研修会（西３会１５：００～）	教育長ヒアリング①	
27	水	キャリア教育担当者研②	教育長ヒアリング②	
28	木	市中学校教科授業研究会（仮：英語） 市教育支援委員会⑬（予備） 保幼こ小連絡協議会③(仮)	教育長ヒアリング（予備日）	
29	金		中学校教科研修会（社会科）	県人事担当者会議⑧（本庁）
30	土			

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【12月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	日			
2	月	保幼こ小連絡協議会③(仮)		第2回道徳教育推進連絡協議会(本庁) 第2回研究委託市町村道徳教育推進連絡協議会
3	火			中学校期の学力課題に関する連絡協議会②(本庁)
4	水	市定例校長会③(西3会9:00～)	地域特別支援教育総合推進事業運営協議会②	教職5年経験者研修担当者連絡協議会 中堅教諭等資質向上研修担当者連絡協議会②
5	木			教育事務所等情報教育担当指導主事連絡協議会②
6	金	第2回　市研究主任研修会(西3会15:15～)	共同学校事務室事務主査会②	教職員研修事業調整会議④
7	土			県立中学校入学者選抜適性検査
8	日			
9	月			
10	火	第4回うるま市プログラミングコンテスト表彰式		
11	水			
12	木	市定例教頭会⑨(西3会9:00～)		教育事務所等国語担当指導主事連絡協議会③【オ】
13	金	日本語教育支援員研修会③	児童生徒支援加配連絡会(小学校)④ 共同学校事務室実践報告会 新規採用・臨時任用事務職員等研修会⑥ 事務長及び事務主幹研修会	臨時教育事務所長会 沖縄県特別支援教育研究大会 教職員研修事業調整会議(予備)
14	土			
15	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
16	月	県・市SSWr・自立支援員研修会(西3会15:00～)		
17	火			学習指導要領の着実な実施に向けた連絡協議会②【オ】
18	水	第3回　学習支援員研修会(西3会15:30～)	教育相談員等連絡協議会⑦(午前) スクールカウンセラー連絡協議会②(午前) おきなわ県民カレッジ美ら島沖縄学講座(ライブ配信⑦)	
19	木	研究教員中間報告会	初任者研修に係る指導教員等連絡協議会④	県保幼こ小架け橋期のカリキュラム検討会議④本庁 おきなわ県民カレッジ生涯学習コーディネーター研修会②
20	金		第3金曜日「少年を守る日」	
21	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	県立中学校入学者選抜適性検査(追検査)
22	日			
23	月			
24	火			
25	水	二学期終業式		
26	木			
27	金			
28	土			
29	日	年末年始休(～1月3日)		
30	月			
31	火			

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【1月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	水	元日		
2	木	年末年始休（～1月3日）		
3	金			
4	土			
5	日			
6	月		仕事始め	
7	火	三学期始業式		県立中学校入学者選抜結果通知期限 県人事担当者会議⑨【オ】
8	水			
9	木	市定例校長会⑩（西3会9:00～）		教育事務所等幼児教育担当者連絡協議会②【オ】
10	金			第10回教育事務所長会議 第3回県立学校校長研修会
11	土			
12	日			
13	月	成人の日		
14	火	GIGA推進訪問・中学	定例教育長会⑥	初任者研修担当主事会③
15	水		共同学校事務室事務長会③	教育事務所等キャリア教育担当指導主事連絡協議会③ 教育事務所等国語担当指導主事連絡協議会④ 教育事務所生徒指導担当主事会②
16	木			沖縄県難聴・言語障害教育研究会 特別支援教育総合推進事業運営に関する実務者会議（本庁） 教育事務所学力向上担当指導主事等連絡協議会②【オ】 学校安全担当指導主事等連絡会議②（午前） 生涯学習・社会教育行政連絡会②
17	金	市特別支援学級担任合同研修会	第3金曜日「少年を守る日」	沖縄県指導主事等連絡協議会② 県人事担当者会議⑩（本庁）
18	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	大学入学共通テスト①
19	日		大学入学共通テスト② 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
20	月	GIGA推進訪問		
21	火	校長最終面談（予備）		沖縄県保育者育成協議会②（参集型）本庁
22	水	校長最終面談（予備） 児童会生徒会担当者研②	学推大会実践発表リハーサル②	教育事務所等社会科担当指導主事連絡協議会③
23	木	校長最終面談①	9年間の学びを繋ぐ小中キャリア教育研修会②【オ】	
24	金	校長最終面談（予備）		県立中学校入学確約書提出期限 第66回沖縄県社会教育研究大会 学校栄養職員　初任者研修⑪（教セ） 学校栄養職員初任者研修　校長等連絡協議会② 市町村教育委員会学校支援連絡協議会③【オ】 教育事務所等外国語教育担当指導主事連絡協議会⑤
25	土			
26	日			
27	月	県・市SSWr・自立支援員研修会（西3会15:00		
28	火	校長最終面談②	中頭地区授業改善推進教師研修会②	栄養教諭初任者研修　校長等連絡協議会② 栄養教諭　初任者研修⑦（教セ）
29	水		定例小中校長会④	
30	木	校長最終面談③	教育相談等連絡協議会⑧	日本語指導教育担当者等連絡協議会③【オ】
31	金	教育実践グランプリ表彰式（第1案）	小学校英語専科FT及び指導主事補連絡協議会②	市町村幼児教育担当者連絡協議会③本庁【オ】

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

学校教育

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【2月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁4課・教育センター等
1	土	うるま教育の日（月間）		
2	日			
3	月			県立高校願書受付（～4日）
4	火			
5	水	市定例校長会⑪（西3会9:00～） 第3回　学推担当者研修会（西3会15:15～）	教職3年目研修②	県保幼こ小架け橋期のカリキュラム検討会議⑤本庁
6	木	校務支援システム研（教頭）	学推大会前日準備・リハーサル③	授業改善推進教師研修会③本庁【オ】 小学校英語専科教員（FT）等連絡協議会③（本庁）
7	金		第47回中頭地区学力向上実践推進大会	県立学校志願変更申し出（～10日） 第11回教育事務所長会議 県幼児教育アドバイザー・初任者研修指導員等連絡協議会③（参集型）本庁
8	土			
9	日			
10	月	教育実践グランプリ表彰式（第2案）		養護教諭　初任者研修　校長・指導者等 連絡協議会② 養護教諭　初任者研修⑪（教セ）
11	火	建国記念の日		
12	水		児童生徒支援加配連絡会（小学校）⑤	栄養教諭　中堅教諭等資質向上研修⑨（教セ）
13	木	沖縄県学力到達度調査（小）～3/13（木）までで選択可 教育支援センター運営委員会②（17:30）	沖縄県学力到達度調査（小）	
14	金	沖縄県学力到達度調査（中）～3/14（金）までで選択可 臨時校長会 教育支援センター運営委員会②（17:30～）	沖縄県学力到達度調査（中） 定例教育長会⑦（学推委員会③） 市町村教育委員会人事担当者会議④	学校運営アドバイザー連絡協議会③（本庁） 県人事担当者会議⑪【オ】
15	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
16	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
17	月			県立学校願書取り下げ・再出願（～18日）
18	火		教職2年目研修④	
19	水	第3回　研究主任研修会（西3会15:15～）	教育長ヒアリング① 中堅教諭等資質向上研修⑩	
20	木	情報教育担当者研③	教育長ヒアリング②	
21	金	市小中生徒指導主任研修（西3会15:00～）	教育長ヒアリング（予備日） 第3金曜日「少年を守る日」	
22	土			
23	日	天皇誕生日		
24	月	振替休日		
25	火		教育相談員等連絡協議会⑨	
26	水	校務支援システム研（教頭）	定例小中校長会⑤	
27	木	県・市SSWr・自立支援員研修会（西3会15:00～）	初任者研修⑫	
28	金	研究・研修報告会（西3会15:00～）	生徒指導担当指導主事連絡協議会③（午前） 派遣指導主事等研修会②（午後）	

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【3月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	土			県立高校卒業式
2	日			
3	月			
4	火			県立学校入学者選抜学力検査(1日目)
5	水			県立学校入学者選抜学力検査(2日目)
6	木		学推企画委員会④	
7	金			第12回教育事務所長会議 教育事務所指導班長等会議⑤(本庁) 県人事担当者会⑫(本庁)
8	土	中学校卒業式(予定1)		
9	日	中学校卒業式(予定2)		
10	月			県立学校入学者選抜学力検査追検査
11	火			
12	水		教育相談員等連絡協議会⑩	
13	木		初任者研修に係る次年度説明会	
14	金	市定例校長会⑫(西3会9:00～)		
15	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
16	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
17	月	市定例教頭会④(西3会9:00～)		
18	火	小学校卒業式		県立学校合格発表
19	水	修了式		県立学校二次募集願書受付(～21日) 県立学校修了式
20	木	春分の日		
21	金	研究教員修了式(11:00～)	第3金曜日「少年を守る日」	
22	土			
23	日			
24	月			県立学校二次募集志願変更再出願
25	火	県・市SSWr・自立支援員研修会(西3会9:00～)		
26	水		共同学校事務室事務長会④ 共同学校事務室事務主査会③	
27	木			
28	金			県立学校二次募集合格発表
29	土			
30	日			
31	月		退職者辞令交付式	

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

学校教育

20　就学援助事業

目標

生まれ育った環境によって左右されることのないよう、必要な教育を受ける機会の均等を図る取組として、就学援助制度等の拡充に努めます。

1. 就学援助制度

本市では、経済的な理由によって、就学が困難と認められる児童生徒の保護者に、学用品費等の就学上必要な経費の一部を援助する就学援助制度を実施しています。

⑴　援助の対象

うるま市に住所を有する保護者で、児童生徒がうるま市立小中学校又は県立中学校に在学している方、又は区域外就学の手続きを行い、許可を受けうるま市立の小中学校および他の市町村が設置する公立の小中学校に在学している児童生徒の保護者で、教育委員会が要件に該当すると認めた方。

⑵　援助の内容（就学援助費目）

① 学用品費
② 通学用品費（小・中 1 年生除く）
③ 校外活動費
④ 新入学用品準備金または新入学児童生徒学用品費（いずれか 1 回）
⑤ 修学旅行費
⑥ 学校給食費

＊ 要保護、区域外就学、県立中学校の援助については、支給費目が限られます。

2. 特別支援教育就学奨励費

⑴　援助の対象

うるま市立小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者又は市の就学支援委員会において判定され、普通学級に在籍する児童生徒の保護者。

⑵　援助の内容

市立小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者等に対し、学用品費等の一部を援助。就学援助費目①～⑥について実費のおよそ 1/2 の額（上限あり）。

3. 関係部署との連携

子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることなく、全ての子どもたちが夢と希望をもって成長していけるよう、各分野で取り組んでいる生活支援や学習支援、家庭支援員による相談業務等をとおし、関係部署と連携することにより、就学援助制度の効果的な周知及び利用しやすい環境の整備に努める。

第２節　うるま市教育支援センター

１　うるま市教育支援センターの概要

1. 目的

21 世紀をたくましく生きる子どもの育成を図るため、不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の定着、基本的生活習慣の改善等のための相談・適応指導（学習指導を含む。）を行うことにより、その学校復帰を支援し、不登校児童生徒の社会的自立に資することを基本とする。

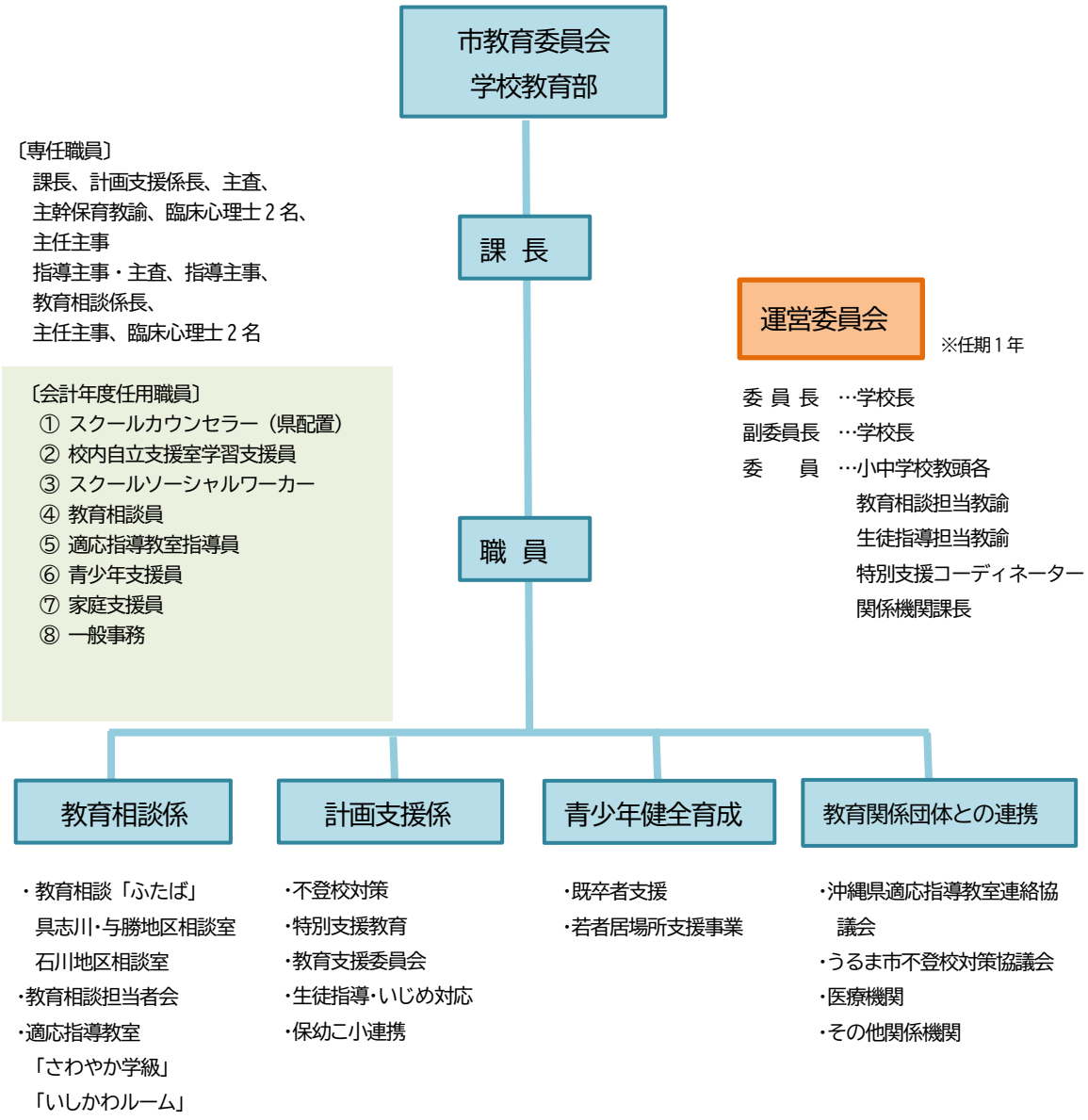
2. 運営方針

①市内の児童生徒及び保護者、教師の教育上の問題や悩みについて相談に応じ支援する。
②適応指導教室、各地区相談室、若者居場所事業の運営の充実に努め、不登校児童生徒を支援する。
③各教育団体・機関との連携を図る。

3. 重点目標及び具体的な取り組み

①　教育相談室「ふたば」の事業実施および適応指導教室「さわやか教室」「いしかわルーム」の運営
〇学校との連携強化
来所相談と小集団活動で対象児童生徒を支え、報告書やケース会議等で対応の連携を図る。
〇小集団活動や体験活動の充実
〇オンラインによる自立支援・ICT を活用した学習支援（いしかわルーム）
②　青少年健全育成事業の実施
〇 既卒者支援の充実
〇 子どもの貧困対策事業（若者居場所事業）
③　各連絡会等の実施
小中教育相談担当者会、適応指導教室協力委員会、教育相談地区連絡会
④　心理的要因等による不登校児童生徒の適応指導教室の開級
〇 体験活動の充実
〇 学校との連携強化
〇 教育相談員との連携及びスーパーバイズの充実
〇 個人面談と保護者面談の充実
⑤　教育支援センター運営委員会（年２回）

4. 運営組織、職員


市教育委員会
学校教育部
〔専任職員〕
課長、計画支援係長、主査、
主幹保育教諭、臨床心理士２名、
主任主事
指導主事・主査、指導主事、
教育相談係長、
主任主事、臨床心理士２名
〔会計年度任用職員〕
① スクールカウンセラー（県配置）
② 校内自立支援室学習支援員
③ スクールソーシャルワーカー
④ 教育相談員
⑤ 適応指導教室指導員
⑥ 青少年支援員
⑦ 家庭支援員
⑧ 一般事務
課 長
運営委員会
※任期１年
委 員 長 …学校長
副委員長 …学校長
委 員 …小中学校教頭各
教育相談担当教諭
生徒指導担当教諭
特別支援コーディネーター
関係機関課長
職 員
教育相談係
計画支援係
青少年健全育成
教育関係団体との連携
・教育相談「ふたば」
具志川・与勝地区相談室
石川地区相談室
・教育相談担当者会
・適応指導教室
「さわやか学級」
「いしかわルーム」
・不登校対策
・特別支援教育
・教育支援委員会
・生徒指導・いじめ対応
・保幼こ小連携
・既卒者支援
・若者居場所支援事業
・沖縄県適応指導教室連絡協議会
・うるま市不登校対策協議会
・医療機関
・その他関係機関

2　事業計画

1. 事業内容

	事業名	内容及び方法等
教育相談	⑴ 教育相談 【ふたば】	・児童生徒、保護者、教師への相談支援 ・来所相談 ・小集団活動 ※来所している利用者を中心に小集団活動を実施。
	⑵ 教育相談担当者会	・児童生徒理解について教育相談担当者の資質向上を図るための研修を行う。 ・教育相談活動について、センターからの資料提供・協議事項の提案・確認、および各園・各校の教育相談活動について情報交換を行う。
	⑶ 適応指導教室 【さわやか学級】 【いしかわルーム】	・心理的要因等による不登校の児童生徒への適応指導 （主に通級による適応指導、個に応じた体験活動の重視） ・オンライン、ICT を活用した学習支援を行い、学校や社会適応を促進する。
計画支援係	⑴ 不登校対策	・不登校の実態把握、不登校予防施策の立案、個別支援計画の策定 ・自立支援員、市 SSW r 、県 SSW r 関係　・子育て包括支援課等との連携の確立
	⑵ 生徒指導・いじめ対応	・いじめ、不登校（実態把握、不登校予防施策の立案、個別支援計画の策定）及び生徒指導
	⑶ 特別支援教育	・特別支援教育　・不登校の実態把握、不登校予防施策の立案、個別支援計画の策定　・作業療法士及び言語聴覚士巡回相談
	⑷ 教育支援委員会	・うるま市教育委員会の諮問に応じて、次に掲げる事項を調査審議する。
	⑸ 保幼こ小連携	・保幼こ小連携、架け橋プログラム及び研修 ・こども未来部との連携
青少年健全育成	⑴ 来室相談	・既卒者に対する面接相談や就労支援の実施 ・子どもの貧困対策事業（若者居場所事業）
	⑵ 寄り添い支援	・各中学校に配置し、非行防止や登校支援、見守り等の支援を行う。
	⑶ 学校生活応援課 （教育支援センター）要覧	・学校生活応援課（教育支援センター）の組織、運営、 事業計画等の紹介

2. 主な事業の趣旨・方針等

〔教育相談事業について〕

① 事業の趣旨

教育上の問題や悩みを持つ児童生徒とその保護者及び教師の相談に応じ支援する。

② 事業方針

ア 教育相談の充実を図る。

イ 教師の教育相談に関する啓発活動の推進を支援する。

〔青少年健全育成事業について〕

① 事業の趣旨

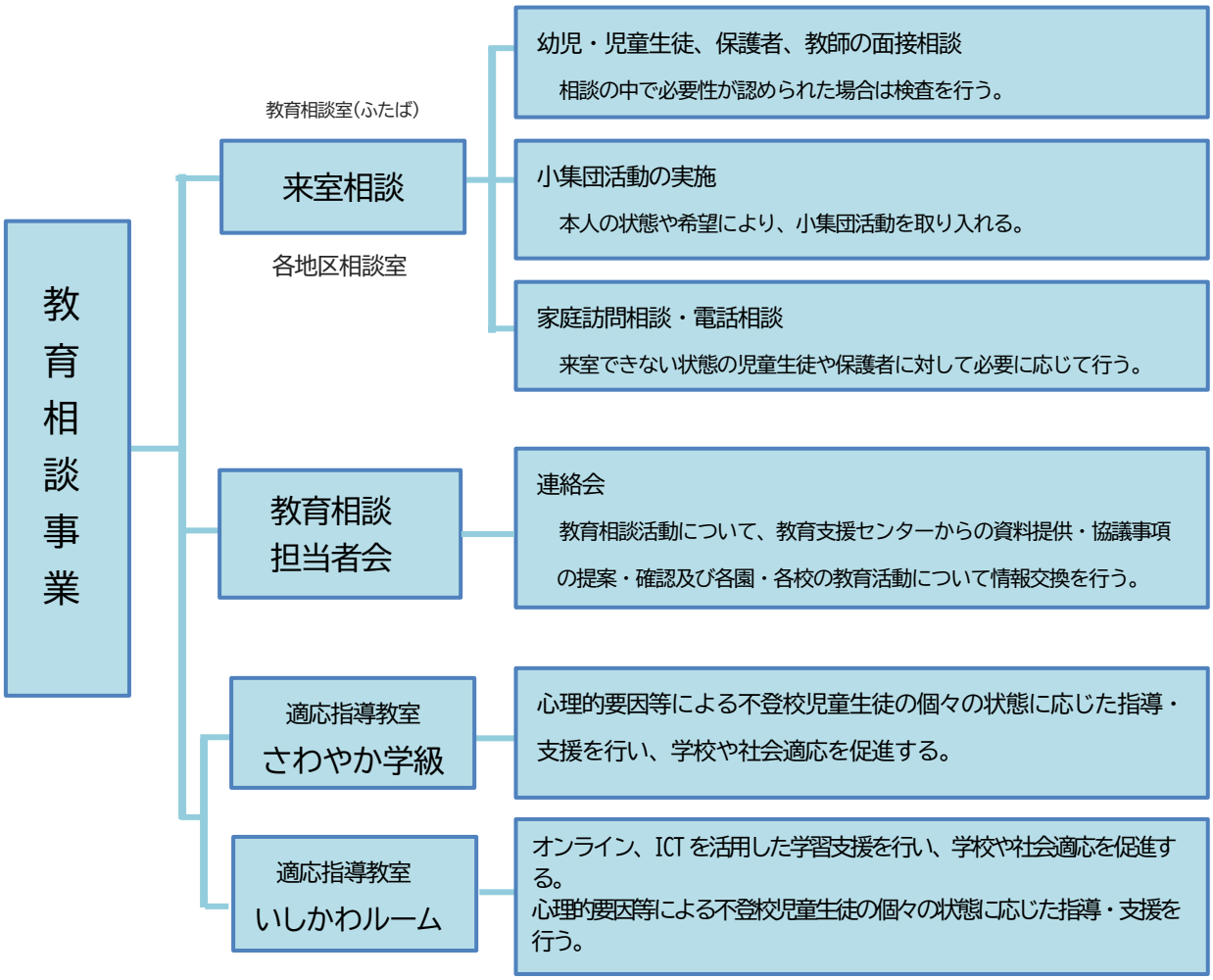
18 歳未満の生徒・既卒者、保護者の面接相談を実施し、困りごとを整理した上で必要な支援を行う。

② 事業方針

ア 支援機関との連携を図る。

イ 子どもの貧困対策事業（若者居場所運営支援事業）の実施。

3　教育相談事業の概要

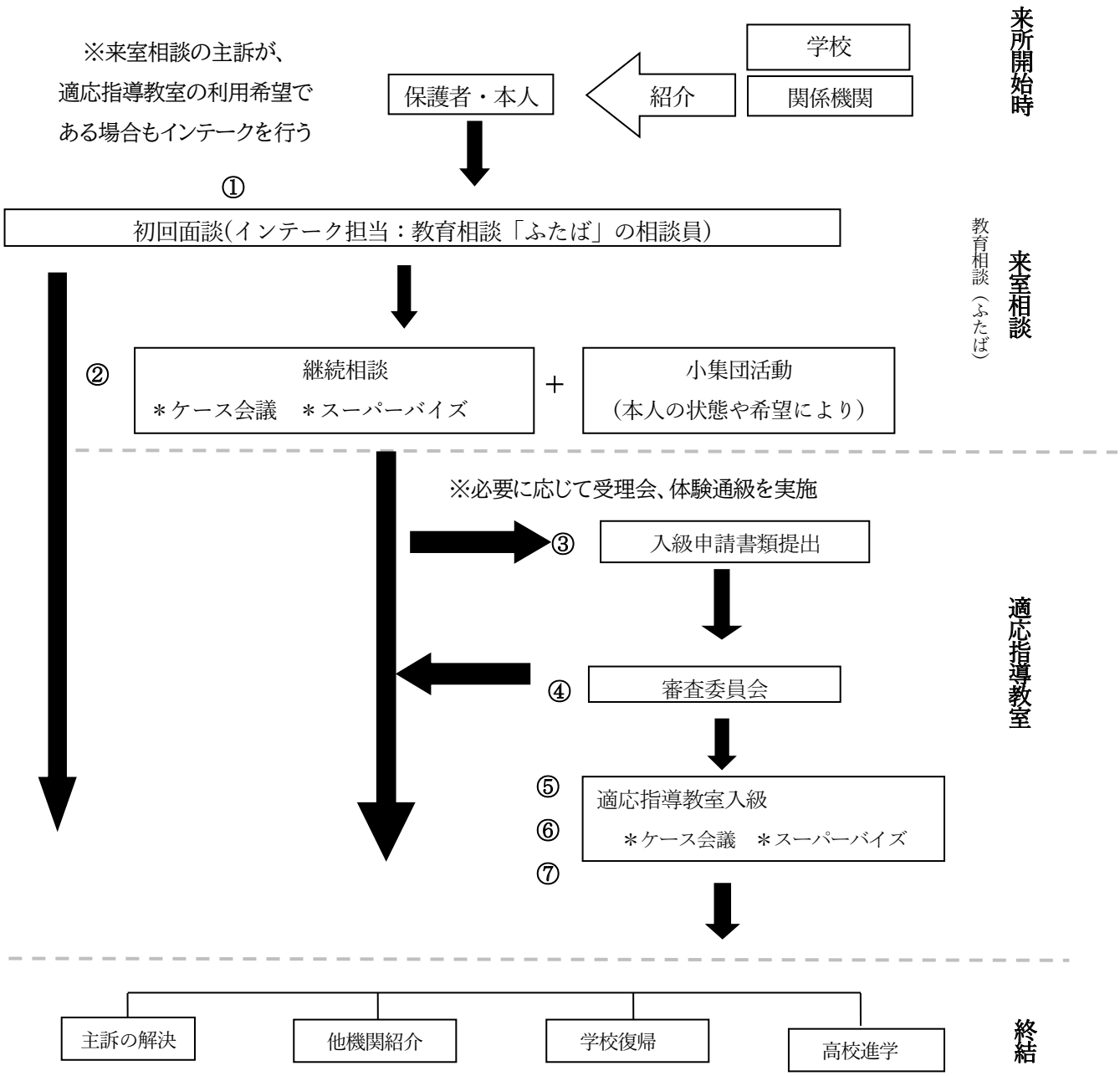


相談対象	相談内容	相談方法
幼　　児 児童生徒 保 護 者	・学校、対人関係、生活行動面に関すること ・登校しぶり、不登校、友人とのトラブル ・反抗的な態度、多動、ぼんやり等	来 室 相 談※1 毎週月曜日～金曜日（祝祭日除く） 時 間　9：00～17：00 場 所　各地区教育相談室
教 職 員	教育活動に関する悩み ・学習、問題行動への対応の仕方等 ・その他教師自身に関すること	

※1 来室が困難なケースについては、必要に応じて、家庭訪問や電話にて相談を行う。

相談室	場　所
具志川・与勝地区相談室	与那城地区公民館 2 階　　☏：098-989-9127 〒904-2304 うるま市与那城屋慶名 467 番地 4　2 階　教育支援センター
石川地区相談室	宮森小学校　敷地内　　☏：098-964-2870 〒904-1106 うるま市石川一丁目 46 番 1 号　教育支援センター

4　教育相談の流れ



1)石川地区、具志川・与勝地区でそれぞれ来室相談を行っている。

◇ 相談対象 ◇

児童生徒、保護者、教師

①入級希望の際は、教育相談ふたばを経て入級を検討する。

学校や他機関からの紹介があっても、すぐに適応指導教室に入級するのではなく、児童生徒が学校復帰する可能性を大切にしている。

②入級前の来室相談（本人・保護者）を実施する。本人・保護者の入級への要望があることを踏まえつつ、以下のことを確認する。

・本人の状態の把握
・本人の自己理解
・本人に合った教育環境を話し合う
・学校との連携（部分登校、行事参加など）
・適応指導教室に対する理解
・入級に向けての意思（意欲）及び基本的生活行動（リズム）の改善
・保護者としての支援に関する理解・心づもり・準備（送迎、面談、その他）
＊現在の入級に至るまでのプロセスについては、入級後の通級がよりスムーズにでき、入級児の成長・発達・変容がより高められる準備期となるものとします。
・本人、保護者、原籍校長ともに、適応指導教室への入級希望である
・適応指導教室での支援が有効と考えられる児童生徒

③本人、保護者、原籍校長ともに適応指導教室への入級の希望と確認出来たら、指定の様式「適応指導教室入級申請書」「児童生徒の概要」「適応指導教室入級願い(保護者記入)」を添えて学校から入級申請を行う。

＊各書類は本計画書、後半部分に添付。
・教育相談ふたばより、入級にあたっての本人の支援計画や配慮点について事前に情報提供を行う受理会を必要に応じて行う
・適応指導教室の職員及び教室に慣れる期間として体験通級を必要に応じて行う

④審査委員会

適応指導教室において本人への支援を効果的に行うために、上記の手続きを経た上で、入級審査委員会にて入級の可否の判定を行う。

入級決定後、「入級承諾通知書」を学校長に通知する。学校長から本人・保護者に入級決定の旨を伝える。在籍校においても、引き続き、本人支援や、保護者支援を継続していくことを親子に伝え、適応指導教室の利用が開始となる。

⑤段階的指導計画に沿って、活動する。
⑥個に応じた段階的登校支援を試みる。
⑦可能なかぎり学校復帰を試みる。

＜入級の期間＞

・入級の期間は学校復帰までとするが、年度３月で退級とする。
・継続して適応指導教室の支援が必要と認められる児童生徒も、新年度に再度入級の手続きをとる。

（★４月、５月は学校対応を主とし、新しい原籍校担任と親子とのラポートづくりの期間とする。
必要に応じて、適応指導教室職員が支援する。）

5　適応指導教室

1. 設置

心理的要因等により登校困難な状態にある児童生徒に対して、集団生活への適応を促し、在籍校への復帰又は将来的な社会的自立を支援するため、適応指導教室を設置する。

2. 名称及び場所

名　称	場　　所
さわやか学級	うるま市与那城屋慶名４６７番地４　２階
いしかわルーム	うるま市石川一丁目４６番１号

3．組織

うるま市教育支援センター（以下「教育支援センター」という）が主管となって本事業を推進する。

① 適応指導教室「審査委員会」

適切な教室利用を図るため、下記の構成で入級・退級の判定を行う。

※児童生徒の状態によっては入級に関して一旦保留の場合もある。

【審査委員会】

教育支援センター	所長、教育相談係長、臨床心理士、教育相談員
適 応 指 導 教 室	担任、指導員

② 適応指導教室「協力委員会」

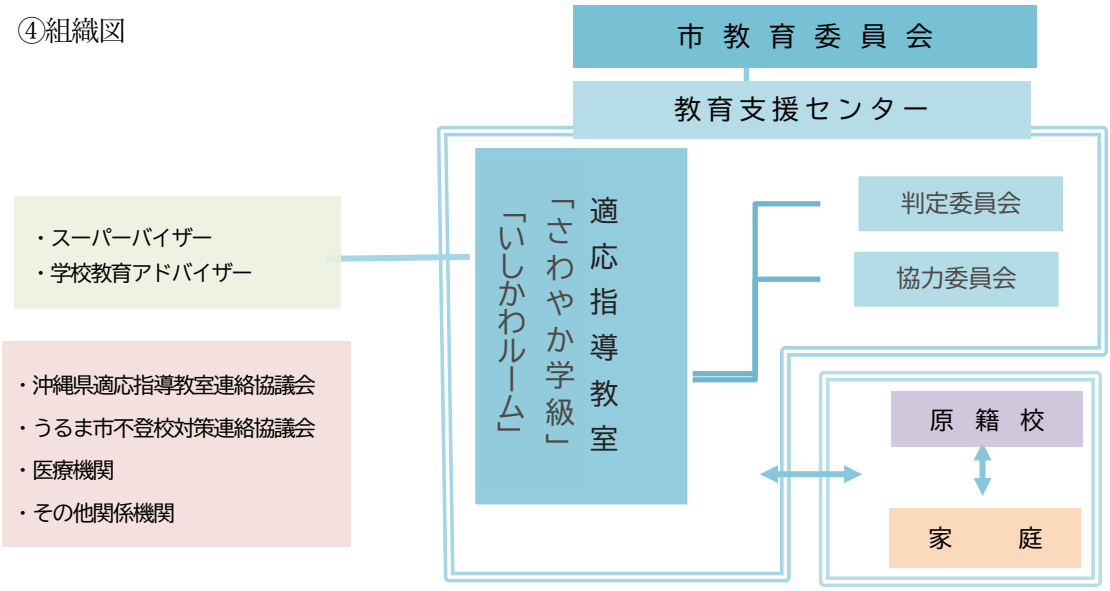
個々の子どもの状態理解および配慮・留意事項を把握・整理した上で、各児童生徒の在籍する学校との具体的な連携について協議する。

【協力委員会】

学 識 経 験 者	スーパーバイザー・学校教育アドバイザー ※必要に応じて
教育行政関係職員	学校教育課研修係長
学 校 関 係 者	児童生徒の原籍校より校長、担任、教育相談担当教諭・養護教諭等 ※必要に応じて SSWr 等
学校生活応援課 （教育支援センター）	課長、教育相談係長、臨床心理士、生徒指導担当主事 適応指導教室担任・指導員

③スーパーバイザー（医師）・学校教育アドバイザーの配置（必要に応じ助言を行う）

④組織図



4．入級対象児童生徒

うるま市に住所を有し、かつ、小中学校に在籍し、心理的要因等によって登校できない児童生徒で、次の各号のいずれにも該当するものとする。

（1）　うるま市教育支援センターにおいて適応指導教室における指導及び助言が効果的と判断され、かつ、通級が可能であるもの

（2）　不登校児童生徒及び当該不登校児童生徒の保護者が適応指導教室に入級することを希望するもの

（3）　適応指導教室に入級を希望する児童生徒の在籍する学校長が適応指導教室に入級することを認めたもの

5．（入級・退級の決定）

適応指導教室の入級・退級の可否は、教育委員会が決定し、対象児童生徒の在籍する学校長へ通知する

6．適応指導教室の運営・活動

① 開設期間及び日時

5 月～翌年 3 月中旬

月曜日から金曜日（休業日は公立学校に準ずる。）

8：30～12：00（児童生徒の状況に応じて午後の対応も考慮する。）

② 運営方針

③ 指導・支援の内容

ア、教育相談　イ、体験活動　ウ、学習活動　エ、基本的生活習慣の 4 本の柱で実施します

めざす子ども像

自分の気持ちを表現することができる

相手を思いやることができる

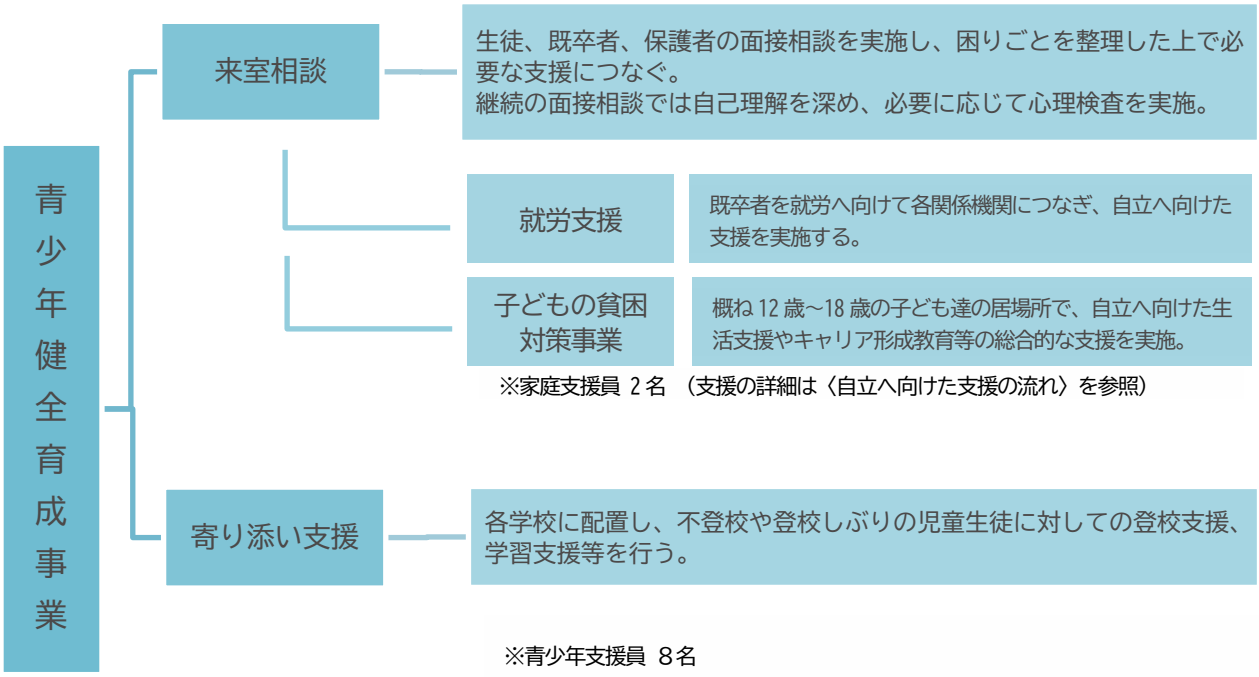
考えて行動することができる

6　青少年健全育成事業

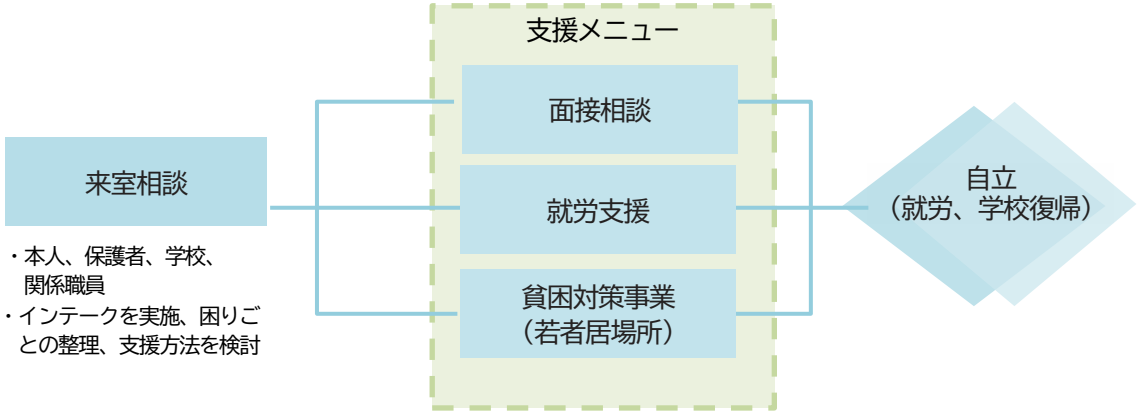
1．業務内容

⑴ 電話、面接、文書及び訪問などによる相談活動に関すること。
⑵ 児童生徒の生活指導のための家庭及び学校への訪問に関すること。
⑶ 青少年の非行防止に関する家庭、地域の啓発に関すること。
⑷街頭指導に関すること。
⑸学習支援活動、その他、青少年の健全育成に関すること。

2．青少年健全育成事業の概要



〈 自立へ向けた支援の流れ 〉



第３節　学校給食

１　学校給食センターの概要

なぜ学校給食があるのでしょうか

小学校へ入学すると、みんな揃って食べる楽しい給食が始まります。学校給食は、お昼の食事を先生や友達と一緒に食べるというふれあいの中で、児童生徒の健康を保持増進し、体力を向上させると共に、豊かな心を育み、心身の健全な発達を促進するための大切な**「食育の場」**です。

1．学校給食の７つの目標（学校給食法第２条）

① 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
② 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
④ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
⑤ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
⑥ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
⑦ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

2．学校給食センター施設

本市における学校給食センターは、共同調理場方式４施設と津堅学校調理場をもって構成され、その総括、管理を第一調理場に置き、うるま市内の小学校 18 校の児童へ 8,601 食、中学校 10 校の生徒へ 3,977 食、認定こども園２園の園児へ 142 食、合計 12,720 食を学校給食として提供しています。

本市教育委員会では、令和５年度教育主要施策において、学校教育の中で「健やかな心と体を育む教育の充実」を掲げ、学校給食を通して児童生徒への食に関する指導を充実するとともに、食の安全・安心・信頼性の確保に努めるとしています。

そのため、本市学校給食センターでは、特色ある学校給食を目指し、児童生徒の望ましい食習慣の形成に向け、学校と連携しながら食育授業を展開しています。

また、安全・安心で栄養バランスの摂れた給食を提供するとともに、沖縄の年中行事食を取り入れた献立、地元食材を活用した地産地消の充実を図り、食育の普及・啓発を推進しています。

さらに、学校給食センターの安定的な運営を行うため、津堅学校調理場を除く４つの共同調理場において調理等業務を委託しており、与勝調理場においては、令和５年６月よりアレルギー対応除去食の給食提供を開始しております。

今後、老朽化を主な課題とする石川学校給食センターと第二調理場は統合し、移転建替えを予定しております。また、第一調理場につきましては、アレルギー対応除去食の給食提供に向け、アレルギー室の整備に取組んでまいります。

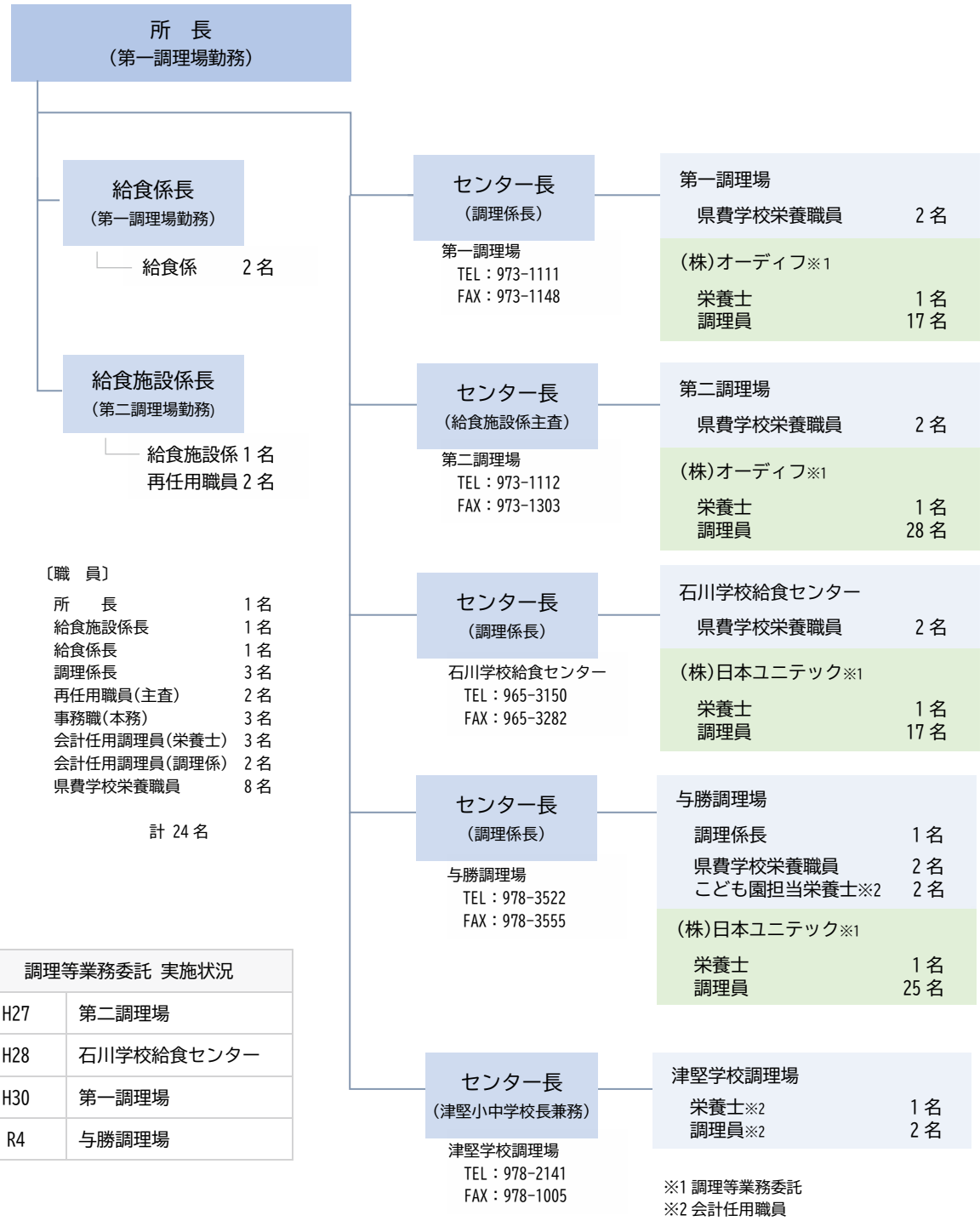
2　給食センター別　学校給食児童生徒・職員一覧表

令和6年5月1日現在

調 理 場	学　　校	児童生徒	職　　員	計
第一調理場	あげな中学校	791	57	848
	具志川中学校	697	56	753
	高江洲中学校	551	45	596
	具志川東中学校	499	36	535
	給食センター	－	25	25
	第一調理場 計	2,538	219	2,757
第二調理場	川崎小学校	382	34	416
	天願小学校	785	53	838
	あげな小学校	491	40	531
	田場小学校	890	58	948
	具志川小学校	299	28	327
	兼原小学校	650	42	692
	中原小学校	852	49	901
	赤道小学校	597	41	638
	給食センター	－	35	35
	第二調理場 計	4,946	380	5,326
石川学校給食センター	石川中学校	411	36	447
	伊波中学校	344	29	373
	中学校 小計	755	65	820
	宮森小学校	404	30	434
	城前小学校	388	34	422
	伊波小学校	779	56	835
	給食センター	－	21	21
	小学校 小計	1,571	141	1,712
	石川学校給食センター 計	2,326	206	2,532
与勝調理場	彩橋中学校	47	22	69
	与勝中学校	550	47	597
	与勝第二中学校	80	20	100
	中学校 小計	677	89	766
	彩橋小学校	101	7	108
	与那城小学校	454	38	492
	南原小学校	267	31	298
	勝連小学校	324	33	357
	平敷屋小学校	197	22	219
	高江洲小学校	739	48	787
	給食センター	－	31	31
	小学校 小計	2,082	210	2,292
	与那城こども園	73	29	102
	赤道こども園	69	27	96
	こども園 小計	142	56	198
	与勝調理場 計	2,901	355	3,256
津堅学校調理場	津堅小学校	2		2
	津堅中学校	7	16	23
	給食センター	－	3	3
	津堅学校調理場 計	9	19	28

区分	児童生徒	職　　員	計
小学校	8,601	644	9,245
中学校	3,977	364	4,341
こども園	142	56	198
給食センター	－	115	115
総合計	12,720	1,179	13,899

3　うるま市立学校給食センター組織図

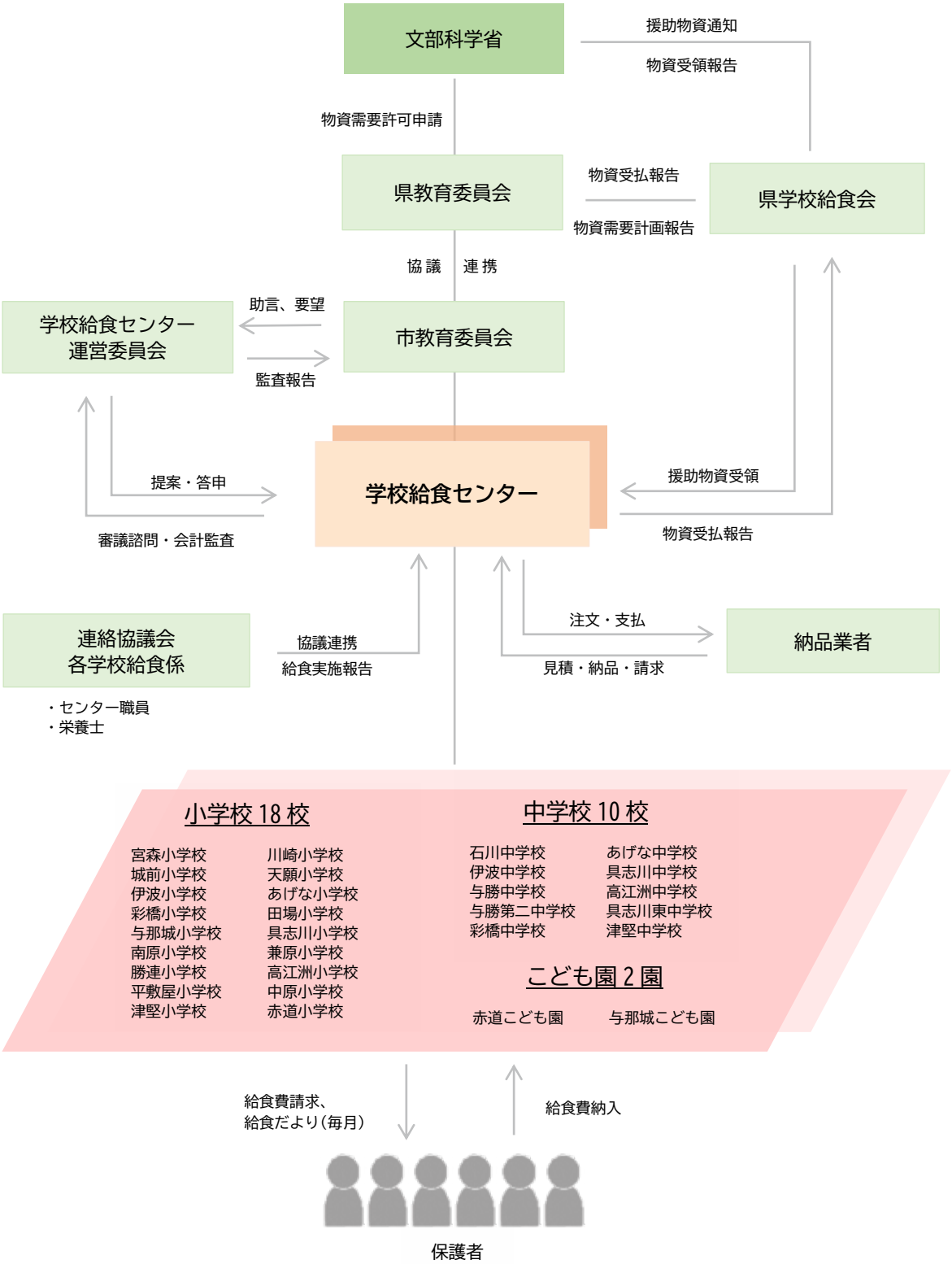


〔職　員〕

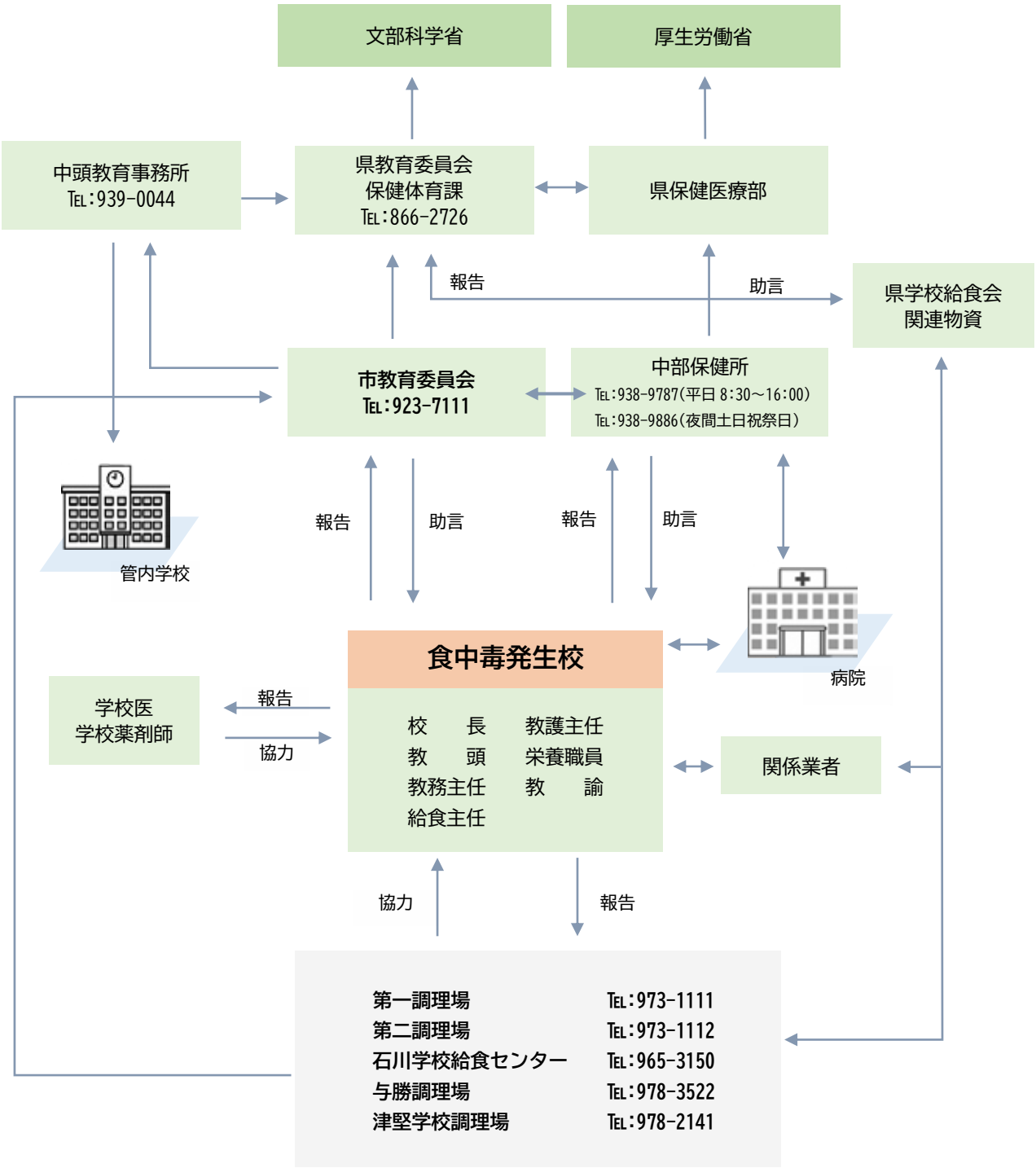
所　長	1名
給食施設係長	1名
給食係長	1名
調理係長	3名
再任用職員(主査)	2名
事務職(本務)	3名
会計任用調理員(栄養士)	3名
会計任用調理員(調理係)	2名
県費学校栄養職員	8名
計	24名

調理等業務委託 実施状況	
H27	第二調理場
H28	石川学校給食センター
H30	第一調理場
R4	与勝調理場

4　うるま市立学校給食センター機構図



5　食中毒発生時の緊急通報体制



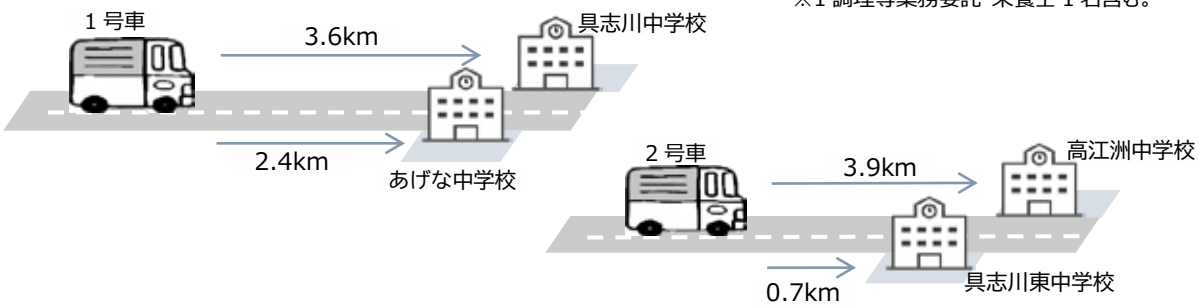
6　各学校給食センター

①　うるま市立学校給食センター　第一調理場

所 在 地	〒904-2213 うるま市字田場 709-1 TEL:(098)973-1111　FAX:(098)973-1148
敷地面積	3,972 ㎡
施設面積	1,326 ㎡
工事竣工	平成 16 年 7 月
調理能力	3,000 食
給食実施年月	平成 16 年 9 月
職員構成	所長 1 名、給食係長 1 名、調理係長 1 名 係員 2 名 学校栄養職員 2 名 調理員 18 名※1　　計 25 名

※1 調理等業務委託 栄養士 1 名含む。

〔第一調理場 配送系統図〕

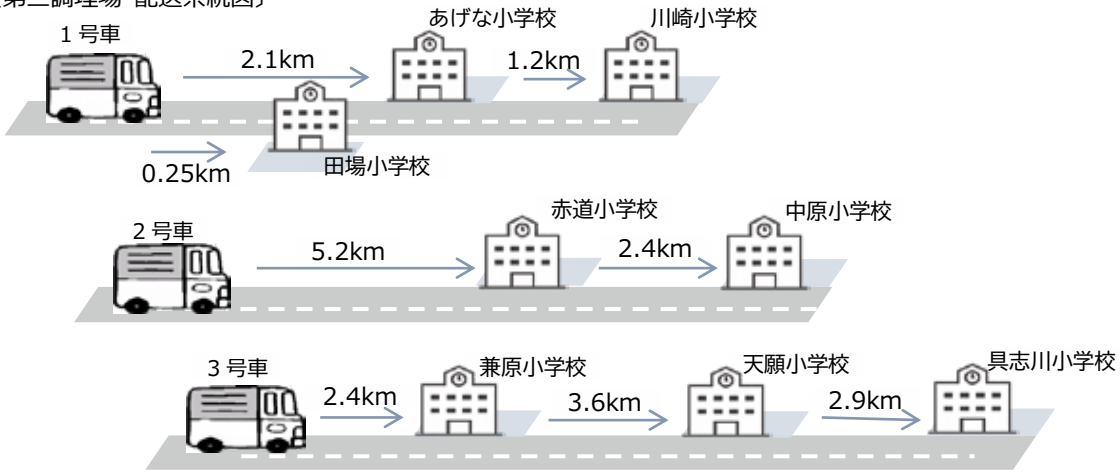


②　うるま市立学校給食センター　第二調理場

所 在 地	〒904-2213 うるま市字田場 850 TEL:(098)973-1112　FAX:(098)973-1303
敷地面積	4,552.99 ㎡
施設面積	984.74 ㎡
工事竣工	昭和 59 年 7 月
調理能力	6,000 食
給食実施年月	昭和 59 年 9 月
職員構成	給食施設係長 1 名、係員 3 名※1 学校栄養職員 2 名、 調理員 29 名※1　計 35 名

※1 再任用職員 2 名含む。
※2 調理等業務委託 栄養士 1 名含む。

〔第二調理場 配送系統図〕

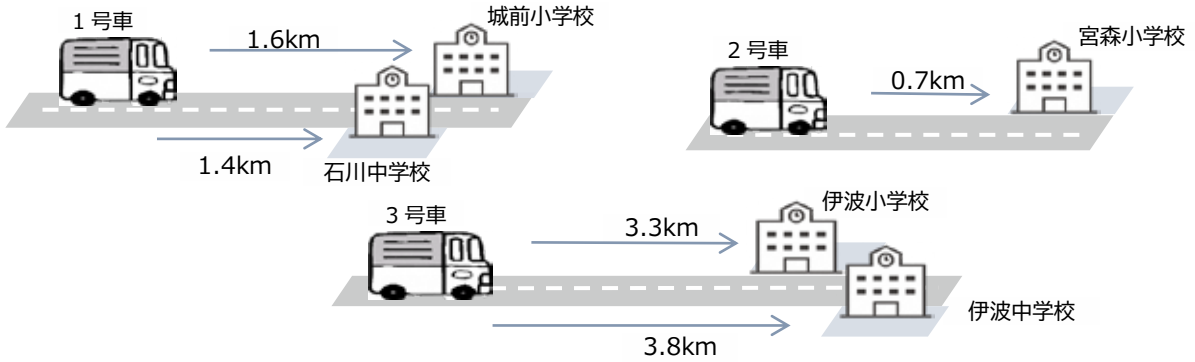


③ うるま市立石川学校給食センター

所 在 地	〒904-1103 うるま市石川赤崎 1-3-2 TEL:(098)965-3150　FAX:(098)965-3282
敷地面積	2,355 ㎡
施設面積	908 ㎡
工事竣工	昭和 57 年 6 月
調理能力	3,000 食
給食実施年月	昭和 57 年 9 月
職員構成	調理係長 1 名 学校栄養職員 2 名、 調理員 18 名※1　計　21 名

※1 調理等業務委託 栄養士 1 名含

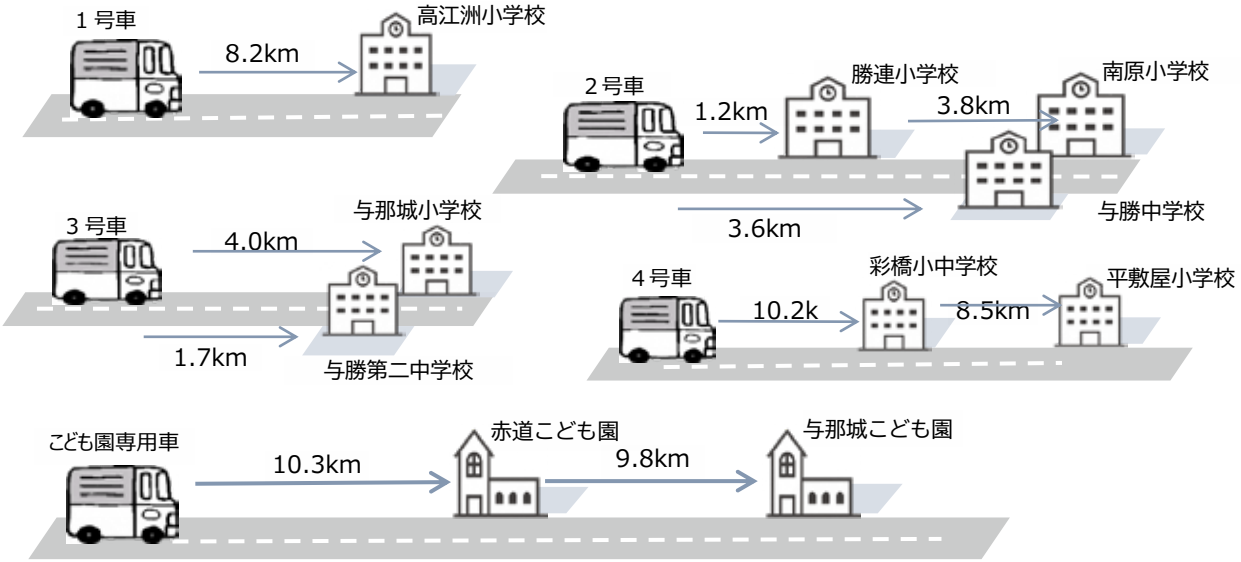
〔石川学校給食センター 配送系統図〕



④ うるま市立学校給食センター 与勝調理場

所 在 地	〒904-2307 うるま市与那城饒辺 231 TEL:(098)978-3522　FAX:(098)978-3555
敷地面積	2,973.38 ㎡
施設面積	1,930.64 ㎡
工事竣工	令和 4 年 7 月
調理能力	3,500 食
給食実施年月	令和 4 年 8 月
職員構成	調理係長 1 名、学校栄養職員 2 名、 市会計任用栄養士こども園担当 2 名、 調理員 26 名※1　計　31 名

※1 調理等業務委託 栄養士 1 名含む。



⑤ うるま市立津堅学校調理場

所 在 地	〒904-2317 うるま市勝連津堅 1327 TEL:(098)978-2141　FAX:(098)978-1005
敷地面積	192 ㎡ ※ランチルームを含む
施設面積	73 ㎡
工事竣工	平成 21 年 3 月
調理能力	100 食
給食実施年月	平成 21 年 4 月
職員構成	市会計任用栄養士 1 名、 会計任用調理員　2 名、 計 3 名

〔津堅学校調理場 配送系統図〕

※学校敷地内調理場のため、調理場からランチルームへ。

＊＊＊＊　令和５年度学校給食ポスター　最優秀賞作品１０作品より抜粋　＊＊＊

兼原小学校６年（当時）
島袋笑子さん
『食に感謝』

平敷屋小学校３年（当時）
大城　希紗季さん
『おいしい給食』